

大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)アドミッションポリシー

教育・研究の理念

本学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としています。具体的には人々の QOL（Quality of Life）の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指します。

求める学生像

医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、以下のような大学院生を求めます。

- 1.看護実践上の課題を明らかにするために専門的知識の修得に主体的に取り組める人
- 2.論理的・科学的思考により看護学を探究しようと考えている人
- 3.看護職としての倫理観と豊かな人間性を備えて柔軟な発想で研究に取り組める人
- 4.グローバルな視野で人々の健康問題に貢献する意欲のある人

入学者選抜の基本方針

一般選抜では、英語の筆記試験及び成績証明書により、大学院で学ぶ上で必要な基礎学力及び看護学分野の専門的な知識を有しているかを評価しています。専門分野の筆記若しくは口頭試問を実施し、看護学の探究に必要な能力である論理的・科学的思考の資質を有しているかを評価しています。面接試験により、志望動機や看護職としての倫理観や豊かな人間性・柔軟な発想力及び広い視野で人々の健康問題に取り組める看護実践者・看護研究者であるかを評価しています。

社会人特別選抜では、大学院受験資格を有し、かつ、看護師、助産師、保健師又は養護教諭の資格を有し、看護の実務歴がある者又は現在看護の実務を行っている者に対して行います。一般選抜で実施される試験と併せて、面接試験により、経歴及び研究計画書に基づき入学後の研究意欲を有しているかを評価しています。

大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）

目 次

1	目的	1
2	組織構成	1
3	専攻および授業科目の概要	1
4	履修方法等	3
5	学位の授与	3
6	医学系研究科看護学専攻行事予定.....	4
7	授業科目・単位数および担当教員一覧.....	5
8	平成 28 年度授業時間割(初回授業日).....	6
9	ディプロマ・ポリシー(DP)と水準DPコードについて.....	7
10	看護学専攻（修士課程）シラバス	8
11	修士論文の作成と提出	49
1)	平成 28 年度修士論文作成日程	
2)	修士論文作成の手引	51
3)	提出書類様式	53
12	学生生活支援について	56
13	学則・規程等	58
	香川大学大学院学則	59
	香川大学学位規程	86
	香川大学医学系研究科規程	100
	大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における入学前の既修得単位の認定に関する申合せ・・	107
	香川大学大学院医学系研究科学位規則実施細則	108
	香川大学大学院医学系研究科（修士課程）長期履修学生取扱細則	111
	香川大学における学生等の旧姓使用の取扱等に関する要項.....	112
	起床等に関する警報の発表等の場合における休講措置の基準について.....	113

巻末：授業日程スケジュール

大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)

1 目的

修士課程看護学専攻において、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としています。具体的には人々の QOL (Quality of Life) の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指します。

2 組織構成

本学の大学院医学系研究科は、医学部医学科を基盤とした博士課程(医学専攻)と医学部看護学科を基盤とした修士課程(看護学専攻)が設置されています。

看護学専攻(修士課程)は、基礎教育課程での教育研究を基盤とし、大学全体で蓄積した教育研究資源と大学が立地する地域を活用した教育研究を基盤として、看護学の専門性を深めるために、3分野(基礎看護学、臨床看護学、地域看護学)を設置しています。

それぞれの分野においては、社会を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、加速度的に多様化し、変化するヘルスニーズを科学的に追及・予測し、必要な対策を講じられるような看護学に関する高度な専門的知識と技術の修得を目指し、高度職業実践者及び看護教育・研究者を育成できるようカリキュラムを編成しています。

看護学専攻の分野及び専門領域

分 野	専 門 領 域
基礎看護学	基礎看護学
	看護医科学
臨床看護学	急性期成人看護学
	慢性期成人看護学
	小児看護学
	母性看護学
	老年看護学
地域看護学	地域看護学
	在宅看護学
	精神看護学

3 専攻および授業科目の概要

1) 専門領域

基礎看護学分野

基礎看護学、看護医科学の領域について教育を行います。最今、Evidence-based Nursing (EBN) が提唱され、看護の知識や技術に関する科学的な実証が不可欠となっています。基礎看護分野では EBN の実践に必要な知識や技術の習得を目指します。

(1) 基礎看護学領域

基礎看護学は、人間・環境・健康とのかかわりの中で看護を科学的に探究するとともに看護に関する問題を検証し、課題の明確化を行います。さらに、対象の安全性と安楽性を科学的に実証した看護技術の実践への活用方法について理解を深めます。

基礎看護学演習及び特別研究は、演習、研究を行います。

(2) 看護医科学領域

看護医科学においては、看護や介護における医学的な疑問点を、科学的に探求し、その原因や解決法を見いだすための研究を行います。具体的にはアンケート調査や実験研究を中心とした講義、演習、研究を行います。

臨床看護学分野

急性期成人看護学、慢性期成人看護学、小児看護学、母性看護学及び老年看護学の領域について教育を行います。学部教育で得られた知識、技術及び深い倫理感を持って、さらに複雑な患者の状態、患者を取り巻く環境を客観的に分析、検討し、倫理と実践の関係を学習します。

(3) 急性期成人看護学領域

急性期成人看護学ではクリティカルな状況下のおかれた対象者に適切な看護支援を提供するための基本となる知識・技術・態度について学びます。また、クリティカルな状況下から回復過程にある対象者にはリハビリテーションを促進するための根拠に基づいた対象理解と看護実践を探求します。

(4) 慢性期成人看護学領域

慢性期成人看護学では、行動科学理論の基礎となる認知と行動の発達を学習し、成人の日常生活における人間らしさを科学的に理解します。また、慢性疾患療養過程の不確かさやその過程を軌跡としてとらえ、よりよい看護のあり方と方法を探求します。

これらのプロセスを通して、慢性期成人看護学領域の課題解決の方法と研究入門者としてのマナーや思考力を身につけられるよう支援します。

(5) 小児看護学領域

現代社会における小児と家族の問題について、医療、保健、福祉、教育などの側面から関連する学問分野の諸理論と看護への活用方法を学びます。さらに小児保健、母子保健などの観点から小児看護を検討します。また、小児と家族に関する国内外の文献および研究論文をクリティークし、各自の研究課題を通して臨床での問題を解決し、看護実践の体系化、理論化を進め、研究能力と高度な臨床実践能力を養います。

(6) 母性看護学

生涯を通じた女性のリプロダクティブヘルス／ライツの視座から、生理的、心理・社会的な健康問題や課題を、PBL形式で、女性のwell-beingを考慮して研究を進めます。看護臨床から、大学院生各自の研究課題を理論と照らし、研究を構築してケアの本質を探究し評価します。その知見から、看護の新しい臨床ケアに反映させて、子どもを産み育てる Women's Health Nursing の発展に寄与します。

(7) 老年看護学領域

老年看護学の領域で看護実践において、対象自身の生活および生命の質が重要な問題となっています。対象の看護を行う上で必要な理論や実践について学習します。さらに、老年看護の対象が、疾患や障害の発症を人生の中の転機として捉え、それを自らの人生の中で意味づけ、全体的な存在として機能し、発達するための援助について探求します。

地域看護学分野

(8) 地域看護学領域

地域で生活するあらゆる人々の健康増進と疾病予防をめざす公衆衛生看護活動が効果的に実施できるよう、多様な理論を学びます。また、変化する時代背景と住民の健康課題、それに対応する行政施策についても理解を深めます。

さらに、各自の研究課題への取り組みを通して、公衆衛生看護の研究および実践能力を養います。

(9) 在宅看護学

在宅看護学に関連する理論モデルを学習し、在宅で暮らしている人々がより良い健康を保ち、その人らしい生活を送ることができるよう支援する能力を養います。在宅看護に関する諸制度と在宅ケアシステムを理解し、多様な職種と共に在宅療養者を支援するために、より適切で効果的な看護を探求します。演習や研究を通して、在宅看護に関する研究課題を見出し、研究計画を立て、自身の研究課題に沿った研究過程を体験します。

(7) 精神看護学領域

精神の健康障害をもつ人への地域リハビリテーションや生活を支えるケア体制の充実が求められています。当事者を含む家族看護アプローチ、多職種連携によるケアシステムについて、既存理論の学修及び文献検討を通じて、各自のテーマを研究的に解決するための研究遂行力を養い、これからの時代を志向した精神看護学を探究します。

2) 基盤科目

本学の目指す高度職業実践者として必要なケア実践能力、管理的能力及び看護を提供する場を改革するための研究方法に関する能力を修得するために、基盤科目として、理論看護学、看護倫理学、看護研究方法論1、看護研究方法論2、看護教育学、看護管理学、臨床科学、国際看護学特論、養護教育特論の9科目を開設しています。

各分野の授業科目と併せて学習することにより、効果的な教育が期待できます。

4 履修方法等

(1) 修業年限

修業年限は、2 年を基準とします。

(2) 修了要件

次の区分により30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- i) 基盤科目5科目10単位以上
- ii) 専門科目のうち同一領域の特論・演習6単位
- iii) 専門科目のうち ii) の科目以外の特論を2科目4単位
- iv) 研究科目10単位
- v) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

(3) 単位修得評価

成績評価は、次の基準で行います。

- 秀 : 90 点以上
- 優 : 80 点以上
- 良 : 70 点以上
- 可 : 60 点以上
- 不可 : 60 点未満

(4) 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）における入学以前既修得単位認定について

入学前既修得単位の認定に関しては、別途定めます（「学則・規程」）。

5 学位の授与

学位は、修士(看護学)とします。修士の学位は、大学院(修士課程)に 2 年以上在籍し、授業科目について 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を 1 年以上とすることがあります。

6. 平成28年度 行事予定

期	月 日(曜日)	行事予定	学位論文審査日程	対象者
前期	4月4日(月)午前	入学式 (幸町キャンパス)		新入生
	4月4日(月)午後	ガイダンス (医学部キャンパス)		新入生・上級生
	4月6日(水)～12日(火)	健康診断(午後)		新入生・上級生
	6月6日(月)～10日(金)		学位論文題目届受付(学務室へ)	9月修了生
	7月4日(月)～8日(金)		1次論文提出(12:00学務室へ)	9月修了生
	7月11日(月)～19日(火)		1次論文審査期間	9月修了生
	8月2日(火)		修士論文発表会	9月修了生
	8月5日(金)		予備日(修士論文発表会)	9月修了生
	8月19日(金)		最終審査論文提出(主査へ)	9月修了生
	8月22日(月)～26日(金)		最終論文審査期間	9月修了生
	9月6日(火)		学位論文提出(12:00学務室へ)	9月修了生
	9月6日(火)		修士論文中間発表会	前年度未発表者
	9月17日(土)	看護学科編入学試験		(入構禁止)
	9月22日(木)	香川大学NP育成入試		(入構禁止)
	9月末		学位授与・修了式	9月修了生
後期	10月1日(土)			大学記念日(休業)
	10月7日(金)～9日(日)	医学部祭		
	11月14日(月)～18日(金)		学位論文題目届受付	3月修了生
	12月12日(月)～22日(木)		1次審査論文提出(12:00学務室へ)	3月修了生
	1月6日(金)～13日(金)		第1次学位論文審査期間	3月修了生
	1月13日(金)	センター試験準備		(休講)
	1月14日(土)～15日(日)	センター試験		(入構禁止)
	1月26日(木)		修士論文発表会	3月修了生
	1月31日(火)		予備日(修士論文発表会)	3月修了生
	2月9日(木)		最終審査論文提出(主査へ)	3月修了生
	2月10日(金)～17日(金)		最終論文審査期間	3月修了生
	2月14日(火)		修士論文中間発表会	1年次生(M1)
	2月25日(土)	一般前期試験		
	2月28日(火)		学位論文提出(12:00学務室へ)	3月修了生
	3月24日(金)		学位授与・修了式	3月修了生

7. 修士課程授業科目・単位数・担当教員一覧

専攻	科目領域	授業科目	履修年次	単位	担当教員
看護学専攻	基盤科目	理論看護学*	1・2	2	南 妙子、當目 雅代（非常勤）
		看護倫理学*	1・2	2	大森 美津子、谷本 公重、渡邊 久美
		看護研究方法論 1*	1・2	2	大西美智恵、越田美穂子、石上 悦子
		看護研究方法論 2*	1・2	2	市原 多香子、鈴木 智子、真鍋 芳樹
		看護教育学	1・2	2	清水 裕子、松井 妙子
		看護管理学	1・2	2	名越 民江、佐々木 睦子
		臨床科学	1・2	2	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
		国際看護学特論	1・2	2	平成 28 年休講
		養護教育特論	1・2	2	平成 28 年休講
	専門科目	看護医科学特論	1	2	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
		基礎看護学特論	1	2	名越 民江、南 妙子
		急性期成人看護学特論	1	2	市原 多香子
		慢性期成人看護学特論	1	2	清水 裕子
		小児看護学特論	1	2	谷本 公重、鈴木 智子
		母性看護学特論	1	2	佐々木 睦子、石上 悦子
		老年看護学特論	1	2	大森 美津子
		精神看護学特論	1	2	渡邊 久美
		在宅看護学特論	1	2	松井 妙子
		地域看護学特論	1	2	大西 美智恵、越田 美穂子
		看護医科学演習	1	4	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
		基礎看護学演習	1	4	名越 民江、南 妙子
		療養成人看護学演習	1	4	市原 多香子
		慢性成人看護学演習	1	4	清水 裕子
		小児看護学演習	1	4	谷本 公重、鈴木 智子
		母性看護学演習	1	4	佐々木 睦子、石上 悦子
		老年看護学演習	1	4	大森 美津子
		精神看護学演習	1	4	渡邊 久美
		在宅看護学演習	1	4	松井 妙子
		地域看護学演習	1	4	大西 美智恵、越田 美穂子
	研究科目	特別研究	2	10	各指導教員

履修方法

- 1) 基盤科目5科目10単位以上
- 2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6 単位
- 3) 専門科目ののうち ii) の科目以外の特論を 2 科目 4 単位
- 4) 研究科目 10 単位
- 5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

8. 成28年度授業時間割(初回授業日)

専攻	科目領域	授業科目	時間割(初回授業日)
看護学専攻	基盤科目	理論看護学*	月曜日 6・7限目 (4/11:6限目)
		看護倫理学*	金曜日 6・7限目 (4/8:6限目)
		看護研究方法論 1*	火曜日 6・7限目 (4/5:6限目)
		看護研究方法論 2*	集中講義
		看護教育学	木曜日 6・7限目 (4/7:6限目)
		看護管理学	集中講義 (7/6:6限目)
		臨床科学	集中講義 (5/28:2限目)
		国際看護学特論	平成28年度休講
		養護教育特論	平成28年度休講
	専門科目	看護医科学特論	木曜日(隔週)6・7限目 (7/14:7限目)
		基礎看護学特論	(履修希望を6/1までに担当教員に連絡し調整)
		急性期成人看護学特論	(履修希望を6/1までに担当教員に連絡し調整)
		慢性期成人看護学特論	火曜日 6・7限目 (7/5:6限目)
		小児看護学特論	木曜日(隔週)6・7限目 (7/4)
		母性看護学特論	月曜日 6・7限目 (7/4:6限目)
		老年看護学特論	金曜日(隔週)6・7限目 (7/15:6限目)
		精神看護学特論	水曜日 6・7限目 (7/13:6限目)
		在宅看護学特論	月or木曜日 6・7限目 (7/4:7限目)
		地域看護学特論	(履修希望を6/1までに担当教員に連絡し調整)

履修者数や社会人学生の勤務の都合により2回目以降の予定は変更の可能性があります。

初回授業には必ず参加して、2回目以降の授業予定を教員と相談して下さい。

基盤科目初回授業予定：4/5～

基盤科目	6限目	7限目
4/5(火)	研究方法論 1	研究方法論 2
4/6(水)		
4/7(木)	看護教育学	
4/8(金)	看護倫理学	看護倫理学
4/11(月)	理論看護学	

(集中講義)

看護管理学 7/6 6限目～

臨床科学 5/28 3限目～

専門科目(各領域特論)初回授業予定：7/4～

専門科目	6限目	7限目
7/4(月)	母性看護学特論	在宅看護学特論
7/5(火)	慢性期成人看護学特論	
7/13(水)	精神看護学特論	
7/14(木)	小児看護学特論	看護医科学特論
7/15(金)	老年看護学特論	

※基礎看護学特論、急性期成人看護学特論、地域看護学特論については、履修希望を担当教員に連絡し調整して下さい。

9. ディプロマ・ポリシー(DP)と水準DPコードについて

ディプロマ・ポリシー(DP)とは、大学毎に設定している修了認定・学位授与に関する方針(修了までに身につけるべき能力)のことです。

香川大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻のディプロマ・ポリシーの詳細は以下の通りです。

修士の学位は、大学院(修士課程)に2年以上在籍し、授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。

ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を1年以上とすることがあります。医学系研究科看護学専攻修士課程で学位を授与された者は、下記の能力を持ちます。

1. 看護専門領域において高度で実践的な専門的知識および理論を活用できる能力 (DPコード:a)
2. 看護現象について科学的思考を用いて課題解決するための研究能力 (DPコード:b)
3. 高い倫理的感受性を持った上で解決困難な看護現象を解明できる能力 (DPコード:c)
4. グローバルな視点で保健医療福祉及び社会の変化に柔軟に対応できる能力 (DPコード:d)

水準DPコードは、水準コード(I)、DPコード(II)、授業開設研究科(III)を示すアルファベット大文字2文字を並べたものです。

例) 2 abd GM

I. 水準コード

その授業の水準として各科目を以下の項目のどれかに振り分けます。

- 1: 修士課程基礎科目
- 2: 修士課程応用科目
- 3: 博士課程科目

II. DPコード

DPの実現のために、その授業が重要な役割を示すと考えられる各研究科のDPコードを重要なものから3つまで記入。

- a: 専門知識・理解
- b: 研究能力・応用力
- c: 倫理観・社会的責任
- d: グローバルマインド

III. 授業開設研究科

医学系研究科を表す GM

10 看護学専攻(修士課程)シラバス

基盤科目

理学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	9
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	10
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	11
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	12
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	13
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	14
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	15
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	16

専門科目

看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	17
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	18
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	19
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	20
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	21
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	22
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	23
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	24
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	25
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	26
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	27
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	28
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	29
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	31
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	32
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	33
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	34
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	35
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	37
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	38

研究科目

特別研究	特別研究	特別研究	特別研究	特別研究	特別研究	39
------	------	------	------	------	------	----

平成27年度以前入学者(特別研究)

看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	40
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	41
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	43
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	44
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	45
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	46
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	47
看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	看護学	48

授業科目名 (時間割コード: 960011A) 理論看護学 Theoretical Nursing	科目区分	DPコード 1abcGM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 未定	
担当教員名 南 妙子, 當目 雅代	対象年次及び学科 医学系研究科		
	関連授業科目 看護研究方法論1 看護研究方法論2		
	看護倫理学		
履修推奨科目			
学習時間 講義・演習90分×15回			
授業の概要 理論看護では、研究の目的である理論の生成と検証をしていくために、看護領域における理論の考え方や知の構築方法について教授します。また、受講生にとって修士論文作成にあたり興味・関心のある中範囲理論について教授します。			
授業の目的 修士生が、研究の目的である理論生成や理論検証の「理論」の本質を知ることが、その後の修士論文を遂行していくうえで重要である。また、理論について学ぶことで、看護の知識の構築方法、理論と研究デザインの関連について考えを深めることができます。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 理論、概念、変数について説明できる。 2. 看護の知の構成要素が説明できる。 3. 看護領域に関連のある中範囲理論が説明できる。 4. 学習成果を効果的にプレゼンテーションできる。			
成績評価の方法と基準 1. テーマの応じたプレゼンテーション資料の作成と発表 (50%) 2. テーマに対する議論の参加度 (20%) 3. 最終課題レポート (30%)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 授業ガイダンス 第2回 学問と専門職 第3回 科学とは 第4回 理論とは 第5回 概念とは 第6回 変数とは 第7回 看護の知の構築 経験知とは 第8回 看護の知の構築 倫理知とは 第9回 看護の知の構築 個人知とは 第10回 看護の知の構築 審美知とは 第11回 中範囲理論1 第12回 中範囲理論2 第13回 中範囲理論3 第14回 中範囲理論4 第15回 中範囲理論5 (中範囲理論は院生が興味・関心のある理論を選択する。例えば、自己効力感、成人学習理論、エンパワメント、トランスセオリアル理論、ヘルスビリーフモデルなど)			
教科書・参考書等 ペギー・L・チン、メオナー・K・クレイマー著、川原由佳里監訳：看護学の統合的な知の構築に向けて、エルゼビア・ジャパン、2007年、4600円 佐藤栄子著：中範囲理論入門―事例を通してやさしく学ぶ第2版、日総研出版、2009年、3780円			
オフィスアワー 南：講義予定日の17時30分～21時まで 看護学科5階515研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 課題ならびに授業参加については、学生の主体的な参加を求めます。			

授業科目名 看護倫理学 Nursing Ethics	(時間割コード：960007)	科目区分	DPコード 1cbaGM	分野コード
担当教員名 大森 美津子, 谷本 公重, 渡邊 久美		単位数 2	時間割 前期 未定	
		対象年次及び学科	1～ 医学系研究科	
		関連授業科目	看護研究方法論、各領域の看護学演習・看護学特別研究	
		履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習				
授業の概要 看護に携わるものは、日常的に倫理的問題に直面している。看護倫理は、そのような問題をどのように考え、意志決定するのかということについて学びを深める。まず、倫理、生命倫理、看護倫理の基本的な理論・原則について学び、臨床の倫理的判断、ケアの倫理、意志決定モデルについて学ぶ。そして、臨床における看護の倫理的問題について検討し、理解を深める。また看護研究を行う上で研究対象の人権擁護を行いながら、研究のプロセスを踏むための基本的な考え方を学び、これからの研究に必要な倫理的問題を検討する。				
授業の目的 医療における倫理の概念を概観し、倫理原則、倫理的問題解決法、研究上の倫理的課題等について探求する。特に、看護における倫理的問題の解決を通して倫理的判断能力を養うとともに、看護の役割・責務について探求する。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 医療における倫理の概念や倫理原則について説明できる。 2. 看護倫理の意志決定モデルについて説明できる。 3. 看護における倫理的問題について、倫理的判断を行うことができる。 4. 医療の倫理における看護の役割・責務について説明できる。 5. 研究上の倫理的課題について説明できる。				
成績評価の方法と基準 評価は、プレゼンテーションの内容、討論への参加、出席日数により行う。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 授業は、各自が興味のあるトピックスを選択し、プレゼンテーションを行います。その後、各発表に対するディスカッションを行います。教員はディスカッションのファシリテーターとアドバイザーとなります。				
第1回	オリエンテーション、倫理の基本的な考え方	大森		
第2回	倫理の原則と重要概念	大森		
第3回	倫理的問題の検討法、ケアの倫理	大森		
第4回	医療看護における倫理的問題の検討(1)	大森		
第5回	看護倫理のための意志決定モデル(1)	谷本		
第6回	看護倫理のための意志決定モデル(2)	谷本		
第7回	医療看護における倫理的問題の検討(2)	谷本		
第8回	医療看護における倫理的問題の検討(3)	谷本		
第9回	看護研究における倫理的問題の検討(1)	渡邊		
第10回	看護研究における倫理的問題の検討(2)	渡邊		
第11回	看護研究における倫理的問題の検討(3)	渡邊		
第12回	看護研究における倫理的問題の検討(4)	渡邊		
第13回	看護研究における倫理的問題の検討(5)	渡邊		
第14回	看護研究における倫理的問題の検討(6)	谷本・大森・渡邊		
第15回	看護倫理に関する学びのまとめ	大森・谷本・渡邊		
教科書・参考書等				
[教科書] Joyce E, Thompson, Hery O 他、ケイコ・キン・イマイ他訳：看護倫理のための意志決定10のステップ、看護協会出版会、2004、3、150円、書籍部				
[参考書] サラ・フライ著、片田範子他訳(2002)、看護実践の倫理、医学書院、2、310円、書籍部				
アンJ.デーヴィス監修、看護倫理 理論・実践・研究、日本看護協会出版会、2004、3、150円				
ジョンセン他著、赤林他監訳(2006)、臨床倫理学、新興医学出版、3、000円				
その他の図書については適宜紹介する。				
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 倫理に関する感性を高めるために、日常に疑問を持ち、授業に望んで欲しい。また、研究については、研究のプロセスなど、研究計画について少し考えている方が望ましい。				

授業科目名 (時間割コード: 960012) 看護研究方法論 1 Methodology of Nursing Research I	科目区分 単位数 2	DPコード 1bacGM 時間割 前期 未定	分野コード
担当教員名 大西 美智恵, 越田 美穂子, 石上 悦子	対象年次及び学科 関連授業科目 履修推奨科目	医学系研究科 看護研究方法論 2 看護倫理学 理論看護学	
学習時間 授業・演習90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 修士論文を作成するにあたり、論文を読む能力と、論文を書くために必要な基本的な知識について学ぶ。まずは看護研究の概要について教授し、次に質的なアプローチを教授する。看護実践の中から生まれる研究疑問を、研究論文としてまとめるための知識体系を発展させる基礎能力の涵養を目指す。			
授業の目的 1) 看護実践の中から生まれる研究疑問を明確化し、研究テーマを絞り込み、研究方法を選択し、研究計画書を作成して実践するといった基本的な研究プロセスを理解する (DPの「専門知識・理解」に対応)。 2) 研究に欠かせない文献検索や論文のクリティックについて理解し、質的研究の演習に活用する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 看護研究のめざすものおよび研究のプロセスについて説明することができる。 2) 研究に必要な文献を検索することができる。 3) 質的なアプローチの研究の具体について説明することができる。			
成績評価の方法と基準			
講義の参加度、課題発表内容と提出レポート、出席点に基づき、総合的に評価する			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
講義、演習、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れながら行うが、個々の研究テーマに基づき、具体的に学びを深めることが望ましい。			
第1回 看護研究方法論1のガイダンス 第2回 看護研究とは 第3回 研究デザインとプロセスの概要 ・看護実践の中から生まれる研究疑問を、科学的な看護研究とするために必要な考え方やプロセスを学ぶ		大西 大西	
第4回 看護研究と文献検索・文献検索演習 ・研究にとって欠かせない文献検索方法を演習を通して理解する ・データベース紹介、医学中央雑誌検索方法、CiNii検索方法		大西・図書司書	
第5回 論文のクリティック		大西	
第6回 看護研究と文献検索・文献検索演習 ・学外文献申し込み方法、Ref Works利用方法、文献検索演習		大西・図書司書	
第7回 研究の概念枠組みとサブストラクション		大西	
第8回 看護領域における質的研究について		越田・石上	
第9回 ・質的研究についての定義や目的、研究プロセスについて学ぶ ・主な研究方法論の概略について学ぶ			
第10回 質的研究方法論(1)		越田・石上	
第11回 「面接によるデータ収集方法と概念抽出」 ・事例を参考に、対象者選定・インタビューガイドの作成 面接方法とデータ収集について学ぶ。 ・演習: M-GTAの手法を参考に、分析シートを使用し、概念抽出を試みる。			
第12回 質的研究方法論(2)		越田・石上	
第13回 ・課題発表とディスカッション			
第14回 グループ毎に得られたデータと概念について、発表及び		越田・石上	
第15回 ディスカッションをする。			
教科書・参考書等 必携: 1. 木下康二: ライブ講義M-GTA実践的質的研究法 修正版グランデットセオリー・アプローチのすべて、弘文堂。			

2. 谷津裕子：Start Up 質的看護研究，学研。
3. その他の必携テキストは、講義時に適宜・紹介します。

参考書

1. D. H. ポリット, B. P. ハングラー、監訳 近藤潤子：看護研究 原理と方法，医学書院，2007.
 2. P. J. Brink, Wood、小玉香津子・輪湖史子訳：看護研究計画書作成のステップ、日本看護協会、1999
 3. 北素子、谷津裕子：質的研究の実践と評価のためのサブストラクション，医学書院，2009
 4. ホロウエイ, S. ウイラー，野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門 第2版，医学書院、2008.
 5. 戈木クレイグヒル滋子：質的研究方法ゼミナール グランデットセオリー・アプローチを学ぶ増補版，医学書院，2008
 6. 山本則子、萱間真美 他：グランデットセオリー法を用いた看護研究のプロセス，文光堂，2005
 7. 木下康仁：M-GTA グランデッドセオリーアプローチの実践 質的研究への誘い，弘文堂，2003.
 8. 木下康仁：M-GTA 分野別実践編 グランデッドセオリーアプローチ，弘文堂，2005.
- その他の参考書については適宜提示・紹介します。

オフィスアワー 講義終了後 1 時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

自ら積極的に学び、自らの研究において実践するといった姿勢で臨むこと。

授業科目名 (時間割コード: 960013) 看護研究方法論 2 Methodology of Nursing Research II	科目区分		DPコード 1abcGM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 未定		
担当教員名 市原 多香子, 真鍋 芳樹, 鈴木 智子	対象年次及び学科		医学系研究科	
	関連授業科目		看護研究方法論1	
	履修推奨科目		研究倫理学、理論看護学 看護研究方法論1	
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習				
授業の概要 看護の領域では研究対象により研究方法は多岐にわたるため、まず、看護研究方法論1の修士論文作成に必要な看護研究概要を習得した後、当科目では量的なアプローチ研究の分析と方法を概説し、適切な研究方法を選択できるよう教授する(オムニバス方式/全15回)。				
授業の目的 1. 研究課題に基づき研究方法を選択し、量的研究に関する基本的な研究方法を理解する(DPの「課題解決する能力」に対応)。 2. 研究に必要な統計知識を学び(DPの「専門的知識・理解」に対応)、データ分析の手順と研究発表方法を身につける。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護研究において量的研究の対象となる範囲の方法論を学び量的データの性質や扱い方、まとめ方が説明できる。 2. 研究課題を明確化し、課題に応じた研究方法を選択してアンケート調査の実施、成果の発表ができる。				
成績評価の方法と基準 アンケート調査作成と実施(20%)、プレゼンテーションや討議の内容(40%)、レポート(40%)から、積極性・論理性・理解力・表現力等を総合的に評価する。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義および院生による演習、プレゼンテーションと討議で展開する。 そのため、自学自習による準備・学習を求める。				
第1回	統計学的アプローチとは		真鍋	
第2回	記述統計、分析統計のアプローチ		真鍋	
第3回	二群の比較		真鍋	
第4回	多群の比較		真鍋	
第5回	相関と回帰		真鍋	
第6回	主成分分析と因子分析		真鍋	
第7～9回	量的研究方法とは 研究計画書の作成		市原・鈴木	
第10・11回	質問紙を作成し、アンケートを実施する		市原・鈴木	
第12・13回	アンケート調査結果をエクセルに入力する		市原・鈴木	
第14回	統計ソフトを活用、統計的アプローチで分析する		市原・鈴木	
第15回	分析結果をプレゼンテーションする		市原・鈴木	
教科書・参考書等 ・D. H. ボリット, B. P. ハングラー、監訳 近藤潤子: 看護研究 原理と方法、医学書院、2007。 ・福原俊一: リサーチクエッションの作り方、健康医療評価研究機構。 ・南裕子: 看護における研究、日本看護協会出版会、2012。 ・松田光信・當目雅代: 実践能力を磨く看護研究、KINPODO、2009。 ・浅野弘明: SPSSと統計学の基礎、ブレアデス出版、2010。 ・石村貞夫: SPSSによる統計処理の手順、東京図書、2012。 その他、研究課題および研究進行度を考慮し、適宜紹介します。				
オフィスアワー 講義終了後1時間				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 自ら積極的に学び、自らの研究において実践する姿勢で臨んでください。				

授業科目名 (時間割コード：960003) 看護教育学 Nursing Education	科目区分	DPコード 1cabGM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 未定	
担当教員名 清水 裕子, 松井 妙子	対象年次及び学科	1～ 医学系研究科	
	関連授業科目	看護研究方法論	看護倫理学
	履修推奨科目	看護研究方法論	看護倫理学
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 看護学教育の概要を学び、看護教育学研究の課題について研究する。教育の基本要素である目標、計画、評価と看護教育の特徴である講義から臨床教育までの実施方法を理解する。また、PBL (Problem based learning)、TBL (Team based learning)、Simulated Patient、OSCEを実際に体験し、方法を理解する。さらに、看護学における電子情報の課題を探索し、看護情報についての理解を深める。			
授業の目的 本授業は、医療機関などにおいて学生や現任者に指導・助言する立場にある看護師・保健師・助産師、養護教諭あるいは看護学の教育研究活動に従事するための基礎となる学科目であり、院生が、それぞれの現場で教育的役割を果たすための意義や方法を学ぶことを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護学および看護教育学の歴史を概観し、説明できる。 2. 看護学における教育制度・課程、教育評価、指導者養成、生涯教育などについて、概要を説明できる。 3. 看護実践の現場における現任者と実習生に対する 教育的役割の課題と方法が説明できる。 4. 現状の看護の臨床および教育現場に対する問題解決方法を説明できる。 5. 電子化された看護情報とこれらを取り扱う看護者の教育のあり方を提案できる。			
成績評価の方法と基準 参加度、取り組み態度、プレゼンテーションなど総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画			
第1・2回	ガイダンス、日本の看護教育制度と看護教育課程・看護教育の体系とカリキュラム		松井
第3・4回	看護学の授業・実習展開論		松井
第5・6回	看護学実習展開と問題基盤型学習 (PBL)		松井
第7・8回	在宅看護学教育の特徴と方法		松井
第9・10回	看護学における評価の意義・到達度評価の方法		清水
第11・12回	模擬患者 (SP) と客観的臨床看護実践能力試験 (OSCE) の実施方法		清水
第13・14回	チーム基盤型学習 (TBL) の特徴と活用方法		清水
第15回	日本の看護教育学研究の現状と課題		清水
自己学習へのアドバイス			
第1～4回	課題報告を行う。		
第5～8回	適宜、演習を実施する。		
第9～14回	適宜、演習を実施する。		
第15回	討論を行う。		
教科書・参考書等 杉森みどり編著 看護教育学 最新版、医学書院 清水裕子編著 ヒューマンケアと看護学、ナカニシヤ書店、2013 授業で配布するハンドアウト			
オフィスアワー 授業日の午後 メールで対応する			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 本科目は、教員や臨地指導者が後進の指導教育に当たるために必要な評価の考え方や実施方法を体験する。			

授業科目名 看護管理学 Nursing Management	科目区分		DPコード 1acbGM	分野コード
	単位数	2	時間割 前期 未定	
担当教員名 名越 民江, 佐々木 睦子	対象年次及び学科 1～ 医学系研究科			
	関連授業科目			
履修推奨科目				
学習時間 授業90分（講義＋演習）×15回 ＋ 自学自習				
授業の概要 看護管理に必要な知識体系について実践と関連づけて講義するとともに、看護サービスの質向上や安全管理、効率的で効果的な看護管理について解説する。				
授業の目的 看護管理に必要な知識体系について、各自の実践現場と関連づけて理解するとともに、看護サービスの質向上や安全管理、効率的で効果的な看護管理が実践できるように演習を通して理解する。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 組織とは、看護組織論について説明することができる。 2) 看護サービスと資源のマネジメントについて具体的に述べることができる。 3) リスクマネジメントと医療安全について説明することができる。 4) 看護管理者論とこれからの看護管理のあり方について述べることができる。				
成績評価の方法と基準 課題レポートの提出およびプレゼンテーション、授業への貢献度を総合して行う。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義形式と適宜課題のプレゼンテーションを取り入れて展開します。				
第1回	ガイダンス・看護組織論	(名越)		
第2回～第3回	資源のマネジメント論・看護サービスマネジメント	(名越)		
第4回	看護管理者論	(佐々木)		
第5回	リスクマネジメントと医療安全（1）	(佐々木)		
第6回	リスクマネジメントと医療安全（2）	(佐々木・名越)		
第7回～第8回	看護管理者における倫理と法的責任（1）（2）	(名越・佐々木)		
第9回	セーフティマネジメントの視点から何をどのようにマネジメントするのか、テーマ選定、内容検討	(名越・佐々木)		
第10回～第11回	演習	(名越・佐々木)		
第12回～第13回	演習	(名越・佐々木)		
第14回	発表・コメント	(名越・佐々木)		
第15回	これからの看護管理の課題と展望	(名越・佐々木)		
教科書・参考書等 特に指定なし				
オフィスアワー 随時				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 主体的に受講することを期待します。				

授業科目名 臨床科学 Clinical Science	(時間割コード：960005)	科目区分	DPコード labxGM	分野コード
担当教員名	単位数 2	時間割	前期 未定	
峠 哲男, 藤井 豊, 筒井 邦彦	対象年次及び学科	1～	医学系研究科	
	関連授業科目	看護医科学特論		
	履修推奨科目	特になし		
学習時間 授業90分×15回+ 自学自習				
授業の概要 近年の医学の進歩は目覚ましく、遺伝子医学、再生医学や生殖医学に代表される新たな道を歩みつつある。臨床科学の講義では、担当教員の専門領域である神経難病・脳神経科学、消化器病学分野における最新トピックスを紹介するとともに、看護職が看護ケアを実践し看護研究を進めていく上で必要な種々の疾患の病態生理、診断、治療に関する最新の医学情報を提供する。				
授業の目的 目覚ましく進歩・発展を遂げる医学を理解するためには、医学を支えるものの考え方と、その基礎に立脚した医学研究の進め方を学ぶことが大切である。神経学、消化器学、ウイルス感染症の各分野の疾患及びその研究事例を通して、医学における科学的ものの考え方、研究の進め方を身につけ（a, b）、的確な看護実践に役立てることを目標とする。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 自己免疫性神経疾患の病態生理と治療の概要の理解を促す。 2) パーキンソン病の臨床と研究の現状の理解を促す。 3) ヒトの生理学的実験方法について、演習を通じて理解を促す。 4) 最新の消化器病学の知見の理解を促す。 5) ウイルスとは何かを説明できる。 6) ワクチンによる予防のメカニズムを説明できる。 7) 様々なウイルス感染症を説明できる。				
成績評価の方法と基準 授業への貢献、レポート、及び出席から総合的に評価する。				
授業計画並びに授業及び学習の方法				
1回	自己免疫性神経疾患の病態生理と治療	峠		
2回	パーキンソン病の臨床と研究事例	峠		
3回	ヒトの生理学的実験法の演習(1)	峠		
4回	ヒトの生理学的実験法の演習(2)	峠		
5回	ヒトの生理学的実験法の演習(3)	峠		
6回	ウイルス性肝炎(1)	筒井		
7回	ウイルス性肝炎(2)	筒井		
8回	最近の内視鏡的治療	筒井		
9回	胆膵系の治療法の変遷 糖尿病と消化器疾患	筒井		
10回	研究のための情報セキュリティ	筒井		
11回	ウイルスとは何か	藤井		
12回	ウイルスのライフサイクル	藤井		
13回	ワクチンによる予防	藤井		
14回	様々なウイルス感染症 1	藤井		
15回	様々なウイルス感染症 2	藤井		
教科書・参考書等 別途提示する。				
オフィスアワー 月曜日、木曜日午後6時以後				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義日程については随時相談に応じます。				

授業科目名 (時間割コード: 961103) 看護医科学特論 Advanced Medical Science of Nursing		科目区分	DPコード 1abcGM	分野コード
担当教員名		単位数 2	時間割 前期 未定	
		対象年次及び学科	医学系研究科	
		関連授業科目		
峠 哲男, 藤井 豊, 筒井 邦彦		履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回+ 自学自習				
授業の概要 看護に関する医学的問題点を探求するために必要な基礎知識として、人体、特に神経、消化器の構造と生理的機能と、それら器官の障害に起因する疾病の病態生理や病理、さらには生化学や分子生物学の知識を習得する。				
授業の目的 神経系、消化器系の形態・構造と機能及び疾患の病理と病態生理の理解、さらに生化学・分子生化学的方法論や神経生理学的方法論の理解を通して (a)、看護における医療技術の問題点を認識し (b)、また、医療システムの問題点についても認識を深め (c)、基礎的な知識を身につける。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 看護の医療技術の問題点を分析できる 2) 医療システムの問題点について分析できる 3) 文献検索により上記の問題点を探求することができる 4) 上記の問題点を解決するために必要な研究方法を具体的に述べられる				
成績評価の方法と基準 出席状況・主体的参加状況・発表内容・レポートにより総合的に評価する。				
授業計画並びに授業及び学習の方法				
第1回	ガイダンス		峠	
第2回	難病医療の現状と問題点Ⅰ		峠	
第3回	難病医療の臨床研究		峠	
第4回	難病医療の看護における現状と問題点Ⅰ (レポート発表)		峠	
第5回	難病医療の看護における現状と問題点Ⅱ (レポート発表)		峠	
第6回	機能的な消化管障害の現状Ⅰ		筒井	
第7回	機能的な消化管障害の現状Ⅱ		筒井	
第8回	アルコール性肝障害の現状Ⅰ		筒井	
第9回	アルコール性肝障害の現状Ⅱ		筒井	
第10回	レポートの作成と提出		筒井	
第11回	パンデミックインフルエンザウイルス1		藤井	
第12回	パンデミックインフルエンザウイルス2		藤井	
第13回	量的研究の一例 ウイルスゲノムのパッケージ機構の解明1		藤井	
第14回	量的研究の一例 ウイルスゲノムのパッケージ機構の解明2		藤井	
第15回	まとめ		藤井	
講義と学生の自主学習によるプレゼンテーションを基にした、ディスカッションを行う。				
教科書・参考書等 別途掲示				
オフィスアワー 月曜日午後6-8時				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義日程については随時相談に応じます。				

授業科目名 (時間割コード: 961001) 基礎看護学特論 Advanced Fundamental Nursing I	科目区分	DPコード 2abdGM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 未定	
担当教員名 名越 民江, 南 妙子	対象年次及び学科 医学系研究科		
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分(演習含む) × 15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業では、自己の看護実践や臨地実習指導、スタッフ指導のあり方を振り返り、自己の省察的能力を育成すると共に、看護実践に活用できるように展開する。加えて、科学的根拠に基づいた看護技術について理解を深め探求する。			
授業の目的 1) 自己の実践場面を再構成して、客観視することの意味について理解する。 2) 看護技術の現状とその科学的・理論的根拠について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 臨地実習指導の構造について説明することができる。 2) 自己の指導過程を再構成して、指導の意味について具体的に述べることができる。 3) EBNの基本ステップが説明できる。 4) 学生の関心ある看護技術に関して、現在までに明らかにされている科学的・理論的根拠を説明できる。			
成績評価の方法と基準 課題レポートの提出およびプレゼンテーション、授業への貢献度を総合して行います。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	ガイダンス・臨地実習指導とは	名越	
第2回	臨地実習指導の構造とモデル	名越	
第3回	ふり返りとは、省察することの意味について	名越	
第4回	素材作り、場面を再構成する	名越	
第5回	実践例の検討(討議、発表を含む)(1)	名越	
第6回	実践例の検討(討議、発表を含む)(2)	名越	
第7回	実践例の検討(討議、発表を含む)(3)	名越	
第8回	実践例の検討(討議、発表を含む)(4)	名越	
第9回	看護技術とEBN	南	
第10回	EBNの基本ステップ(1)	南	
第11回	EBNの基本ステップ(2)	南	
第12回	生活援助技術とEBN	南	
第13回	診療援助技術とEBN	南	
第14回	看護技術の検討(討議、発表を含む)(1)	南	
第15回	看護技術の検討(討議、発表を含む)(2)	南	
教科書・参考書等 必要時クラスで紹介します。			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自の「問い」を意識して受講されることを期待します。			

授業科目名 急性期成人看護学特論 Advanced Adult Health Acute Nursing	科目区分	水準DPコード 2abdGM	分野コード
	単位数 2	時間割	
担当教員名 市原多香子	対象年次及び学科 1年 医学系研究科看護学専攻		
	関連授業科目 急性期成人看護学演習 特別研究 慢性期成人看護学特論		
	履修推奨科目 理論看護学 看護研究方法論1 看護 研究方法論2		
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 成人看護領域における健康障害を持つ患者および家族に対する看護と研究方法を理解するための科目です。授業は、成人ケアのための理論や、健康危機状況の予防と手術や血管病変のための治療からの回復を促進する有効な看護実践について、文献学習とグループ討議により、学生の主体的参加によって探求していきます。			
授業の目的 健康危機状況はすべての健康レベルで起こります。本講義では、高度専門職業人として必要な知識と能力の一つとして、成人看護領域における健康障害をもつ患者および家族の看護と研究方法を理解するとともに、その知識を基盤にし、健康危機状況の予防と回復を促進する看護実践における課題を探究する基礎となる能力を身につけることを目的とします。			
到達目標			学習・教育目標
1. 学生の興味のあるテーマに関する文献を検索し、提示することができる。 2. 学生の興味のあるテーマに関する文献を精読し、看護の現状と課題について述べる ことができる。 3. 学習成果として効果的にプレゼンテーションできる。 4. テーマに関する討議に主体的に参加できる。			
成績評価の方法と基準 1. テーマに応じたプレゼンテーション資料の作成と発表、2. テーマに対する議論の参加度、3. 出席状況から総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 授業は、各自が興味のあるテーマを下記より選択し、プレゼンテーションを行います。そのプレゼンテーションをもとに討議を行います。そのため、自学自習による準備・学習を求めます。			
第1回 ガイダンス 第2回 健康危機状況にある成人患者のケアに関する理論と研究方法の検討： ストレス・コーピング・危機理論 第3回 健康危機状況にある成人患者のケアに関する理論と研究方法の検討：意思決定 第4回 健康危機状況にある成人患者の身体・心理・生活のアセスメント方法の検討 第5回 リハビリテーションの必要な患者の理論と研究方法の検討：ICFモデル 第6回 リハビリテーションの必要な患者の理論と研究方法の検討：障害受容 第7回 健康障害をもつ成人患者に必要な看護援助の現状と課題の検討：周手術期患者の回復促進 第8回 健康障害をもつ成人患者に必要な看護援助の現状と課題の検討：循環機能障害患者の回復促進 第9回 健康障害をもつ成人患者に必要な看護援助の現状と課題の検討：運動機能障害患者の回復促進 第10回 健康障害をもつ成人患者に必要な看護援助の現状と課題の検討：生活習慣病の重症化予防 第11回 健康障害をもつ成人患者に必要な看護援助の現状と課題の検討：廃用症候群の予防 第12回 回療養行動に関する患者教育の現状と課題の検討 第13回 回療養行動に関するセルフケア再獲得の支援の現状と課題の検討 第14回 回療養行動に関する家族支援の現状と課題の検討 第15回 まとめ			
教科書・参考書等			
その他、研究課題および研究進行度を考慮し、適宜紹介します。			
オフィスアワー 講義終了後1時間			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 自ら積極的に学び、自らの研究において実践する姿勢で臨んでください。			

授業科目名 (時間割コード: 962021) 慢性期成人看護学特論 Advanced Adult Health Chronic Nursing	科目区分	DPコード 2bcdGM	分野コード
担当教員名 清水 裕子	単位数 2	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科 医学系研究科		
	関連授業科目 看護教育学		
	履修推奨科目 看護教育学		
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業では、研究入門者である修士学生が成人看護研究にとりかかる前に、関連する基本概念を理解するための科目である。 人間の完態である成人は、生涯発達の看護学を理解する上での基本モデルであり、成人看護研究を学ぶことで他の発達段階での研究の理解をも深めることができる。 具多雨的には、成人の人間らしさを科学的に理解するために、認知と行動の発達を行動科学理論でとらえ、また慢性疾患の不確かさや病の経過を軌跡としてとらえる。さらに死に向かう人間の生きる意味や逆境を生き抜く強さなどを哲学的な観点からとらえ、慢性期看護のあり方を考える。これらを通して、看護者の態度価値、看護者に必要な哲学的人間観の涵養を目指している。			
授業の目的 哲学的、科学的観点から成人看護研究方法を学び、各自の研究計画への示唆を与えることである。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
到達目標 1. 慢性期にある成人の役割課題が説明できる。 2. 慢性期にある成人への有用な看護方法が説明できる。			
成績評価の方法と基準 授業や討論への参加度、資料など成果物、発表などを評価資料とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画 授業は参加型とする。 自らの疑問や関心に関連する事項を発表し、討論を展開することが基本である。			
第1回 ガイダンス・成人看護研究トピックス 清水 第2回 研究における思考パターンー量と質の特性論とタイプ論 清水 第3回 研究における思考パターンー量と室の特性論とタイプ論 清水 第4回 成人看護のための行動科学Ⅰー認知と発達 清水 第5回 成人看護のための行動科学Ⅱー認知と発達 清水 第6回 成人看護のための行動科学Ⅲー行動理論 清水 第7回 成人看護のための行動科学Ⅲー行動理論 清水 第8回 成人疾病と看護ー不確かさ 清水 第9回 成人疾病と看護ー不確かさ 清水 第10回 成人疾病と看護ー病みの軌跡 清水 第11回 成人疾病と看護ー病みの軌跡 清水 第12回 成人看護における存在論ーケアリング 清水 第13回 成人看護における存在論ースピリチュアルケア 清水 第14回 成人看護における態度価値とwell-being 清水 第15回 成人看護における態度価値とwell-being 清水			
【自学自習へのアドバイス】 各授業の際には、院生各自が必ず、資料となるレジュメを準備し、討論形式で進める。			
教科書・参考書等 Walker, L. O. & Avant, K. C. (中木高夫・川崎修一訳) 看護における理論構築の方法, 医学書院, 2008 (3,800円) Roach, M. S. (鈴木智之・操華子・森岡崇訳) アクト・オブ・ケアリング, ゆみ出版, 1996 (2,100円) Waldemar Kippes, スピリチュアルケア, サンパウロ, 1999 (2,300円) Pierre Woog (ed.), 黒江ゆり子他訳, 慢性疾患の病みの軌跡, 医学書院, 1995 (2,700円) Pearman, R. R. & Albritton, S. C., 園田由紀訳, MBTIへの招待, 金子書房, 2002 (3,500円) 清水裕子編著, ヒューマンケアと看護学, ナカニシヤ出版, 2014			
オフィスアワー 学生相談は随時, Emailも対応する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ プレゼンテーション資料は、事前に相談に応じる。			

授業科目名 (時間割コード: 962101) 小児看護学特論 Seminar in Pediatric Nursing Theories		科目区分	DPコード 1acbGM	分野コード
担当教員名 谷本 公重, 鈴木 智子		単位数 2	時間割 前期 未定	
		対象年次及び学科	医学系研究科	
		関連授業科目	小児看護学演習、小児看護学特別研究	
		履修推奨科目	看護倫理学、看護研究方法論	
学習時間 授業90分×15回+ 自学自習				
授業の概要 本研究科小児看護学では、小児看護の臨床現場における複雑で困難な問題を解決し、その看護実践を体系化、理論化することを目指しています。そのため、小児看護学特論は、小児看護において用いられる子どもとその家族に関する諸理論を学際的に探究していきます。授業は、各回のテーマに関して院生による主体的な学びをもとに、参加者によるディスカッションによって進行していきます。				
授業の目的 子どもを統合体としてとらえた上で、小児看護において重要な理論に関して概観していく。この事を通して、子どもを理解するとともに、子どもの最善の利益を守るための法律や条約に関して理解を深める。また、これらの諸理論に関して、社会情勢を踏まえ、日本の文化の中において適応する際の課題について考察していきます。さらに、講義のためにレビューした文献を読み進めることにより、研究の動向が明らかとなり、個々の研究課題の明確化につなげることが可能となります。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 子どもの成長発達に関する原則を列挙することができる。 2. 子どもの権利条約に関する歴史的背景とその内容、現状および課題について説明することができる。 3. 子どもの認知発達に関する理論について述べることができる。 4. これらの理論を臨床現場における現状に適応し、その課題を説明することができる。 (以上、DPの「専門知識・理解」「倫理観・社会的責任」と「研究能力・応用力」に対応)				
成績評価の方法と基準 講義での討議の内容 (50%) およびレポート内容 (50%) から、積極性・論理性・理解力・表現力等を総合的に評価します。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義は、院生による発表と全体討議で展開する。				
第1回	オリエンテーション			
第2回	生涯発達と小児			
第3回	成長発達の理解： 生物学的視点			
第4回	成長発達の理解： 解剖生理学的視点			
第5回	成長発達の理解： 心理学的視点			
第6回	成長発達の理解： 社会学的視点			
第7回	子どもの最善の利益を守るための法律・条約など①			
第8、9回	子どもの最善の利益を守るための法律・条約など②			
第10、11回	子どもの認知発達に関する理論： ピアジェ			
第12、13回	子どもの関係性の発達： マラー・ボルビイ			
第14、15回	子どもの自我の発達： フロイト・エリクソン			
第16、17回	諸理論適応による事例検討とその課題			
教科書・参考書等 課題および研究進行度を考慮し、授業前・授業中に適宜提示、紹介します。				
オフィスアワー 講義予定日の18時から22時。また、メール等で適宜受け付けます。				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 主体的な学びをもとに授業に参加するとともに、参加者相互で積極的に討議し、論理的思考と表現力の向上を図りましょう。関連する文献は積極的に講読、多読すること。必要に応じて英語論文も購読してください。講読する文献に関しては、医学部図書館でガイダンスしていただける医中誌、PubMed等を用いて系統的検索を行い、文献管理ツール (Mendeley) を利用して効率よく管理してください。				

授業科目名 (時間割コード: 962201) 母性看護学特論 Maternal Nursing Theories I	科目区分	DPコード 2abcGM	分野コード
担当教員名 佐々木 睦子, 石上 悦子	単位数 2	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科	医学系研究科	
	関連授業科目	母性看護学演習	
	履修推奨科目	母性看護学演習	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 女性の生涯を通じたリプロダクティブヘルス/ライツの概念から、各ライフステージにおける健康問題と課題について理解し、援助の方向性を探求するために、母性看護領域に関連する概念と理論の知識を学習する			
授業の目的 母性看護領域に関連する理論と知識を学び、女性のライフステージにおける課題探求と問題解決について理解する (DPの「専門知識・理解」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 女性のライフステージにおける健康問題の特徴と課題について説明できる 2. リプロダクティブヘルス/ライツの概念から、女性の健康問題について援助の方向性が説明できる 3. 母性看護領域に関連する概念と理論について説明できる (DPの「専門知識・理解」に対応)			
成績評価の方法と基準 課題プレゼンテーション30%、課題レポート50%、講義参加度20% 課題への取り組み姿勢や講義への主体的参加等によって総合的に評価する			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義および院生の課題についてのプレゼンテーションと課題のディスカッション			
第1回 ガイダンスー講義内容と学習方法 第2回 女性のライフステージと健康 第3回 女性のライフステージにおける健康問題の特徴 (思春期・成熟期) 第4回 女性のライフステージにおける健康問題の特徴 (更年期・老年期) 第5回 リプロダクティブヘルス/ライツ 第6回 リプロダクティブヘルスの主要概念ー性感染症, 人工妊娠中絶 第7回 リプロダクティブヘルスの主要概念ー不妊と生殖医療 第8回 リプロダクティブヘルスの主要概念ードメスティックヴァイオレンス, 他 第9回 母性看護学領域に関連する概念と理論ー母性と父性 第10回 母性看護学領域に関連する概念と理論ー母性の発達, 母親役割取得過程 第11回 母性看護学領域に関連する概念と理論ージェンダー, セクシュアリティ 第12回 母性看護学領域に関連する概念と理論ーエンパワーメント, セルフケア 第13回 母性看護学領域に関連する概念と理論ー母子の愛着 第14回 母性看護学領域における倫理的課題 (1) 第15回 母性看護学領域における倫理的課題 (2)			
自学自習 毎回課題についてディスカッションしていくので、問題意識をもちながら主体的に課題に取り組むことが必要			
教科書・参考書等 参考書 1. 大日向雅美: 母性の研究, 川島書店, 1988. 2. 鈴木七美: 出産の歴史人類学, 新曜社, 1999. 3. 赤川 学: セクシュアリティの歴史社会学, 頸草書房, 1999. *随時指示する			
オフィスアワー 講義終了後, 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 課題についてのプレゼンテーションは文献等に基づいて主体的に取り組む 授業は相互作用であるため, 学生の主体的参加を求める			

授業科目名 (時間割コード: 962311) 老年看護学特論 Gerontological Nursing Theories	科目区分	DPコード 1abcGM	分野コード
担当教員名 大森 美津子	単位数 2	時間割 前期 未定	対象年次及び学科 医学系研究科 関連授業科目 老年看護学演習、老年・精神看護学特別研究 履修推奨科目
学習時間 講義 90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 加齢により老化すること、身体や精神を病むことをマイナス面で捉える傾向にあるが、視点を変えればプラスな面が見えてくる。対象を理解する上で、プラスな面に目を向けることが対象の持っている力を引き出すためには大切である。ここでは、人の人間発達や全人的な見方について文献から学び、老年期の発達課題に焦点を当てて学びを深める。そして、病気の高齢者の体験を抄読し、互いの体験を共有して、対象の理解を深めるとともに、病気や障害の体験の意味についても考える。さらに、老年看護の専門的知識や理論について学ぶ。さらに、人生の課題達成への援助や認知症高齢者の専門的ケアについて探求する。			
授業の目的 高齢者を人間発達の視点で捉えることを学ぶ。また、高齢者とその家族を理解するために、重要な専門的知識や理論について学ぶ。人間発達の視点に立ち、高齢者を援助する方法について考える。また、高齢者とその家族を援助する上で必要な専門的知識や理論について学ぶ。さらに認知症高齢者の専門的ケアのあり方について探求する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 高齢者について、人間発達の視点から説明できる。 2. 高齢者とその家族の理解を促す専門的知識や理論について説明できる。 3. 人間発達の視点を踏まえ、高齢者とその家族への援助について説明できる。 4. 理論に基づく高齢者とその家族への援助について説明できる。 4. 認知症高齢者の専門的ケアの考えを説明できる。			
成績評価の方法と基準 プレゼンテーションの内容(知識・論理性・わかりやすさ)、授業での発言内容(積極性・論理性・発展性)、レポート(論理性・理解力・表現力)を総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義、テーマに基づいた院生のプレゼンテーション、テーマに関するディスカッション、レポート			
第1回	オリエンテーション		大森
第2回	人間発達・全人的な見方について		大森
第3回	エリクソンの老年期の心理社会的課題の理論		大森
第4回	エリクソンの老年期の心理社会的課題の実践・研究		大森
第5回	心と体のつながり・病や老いの捉え方		大森
第6回	認知症高齢者の体験		大森
第7回	認知症高齢者の体験		大森
第8回	バリデーションの理論		大森
第9回	バリデーションの実践・研究		大森
第10回	人生の課題達成へ向けてのケアー高齢者		大森
第11回	グリーフワークの理論		大森
第12回	グリーフワークの実践・研究		大森
第13回	アクティビティの理論		大森
第14回	アクティビティの実践・研究		大森
第15回	人間発達・理論から捉えた対象理解・援助のあり方のまとめ		大森
教科書・参考書等 別途提示する。			
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 研究テーマや実践の中から、関心を持ち、積極的に討論に参加して、人間発達や全人的な見方について理解して欲しい。			

授業科目名 (時間割コード: 963005) 地域看護学特論 Community Health Nursing Theories I	科目区分	DPコード labdGM	分野コード
担当教員名 大西 美智恵, 越田 美穂子	単位数 2 時間割 前期 未定	対象年次及び学科 医学系研究科	
	関連授業科目 看護研究方法論1, 看護研究方法論2, 理論看護学, 看護倫理学	履修推奨科目 地域看護学演習	
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 地域看護学は個人や家族・特定集団などによって構成されている地域全体を視野におき、現代の健康課題に対応できる個人・家族・集団・地域のエンパワメントの向上を目指す学問である。地域看護活動は、地域で生活している人々を理解しパートナーシップを形成していくが、それらの活動は、社会環境の変化や健康課題と密接関係している。そこで、現代の健康課題やそれらに対応した法令や制度について文献を通して考える。			
授業の目的 社会環境の変化と健康課題を下記の項目をとおして理解する。 1. 社会情勢の変化を①人口および疾病構造の変化、②経済・産業の構造変化、③技術発展とその健康影響、④グローバル化および価値観の多様化、⑤地方分権化をとおして理解できる (DPの「専門知識・理解」に対応)。 2. 生活環境、災害から健康課題を理解できる。 3. 健康の社会的決定要因および健康課題に対応するための資源や法令、制度について理解できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 文献を熟読し、内容を理解できる。 2. 社会環境の変化と健康課題について説明できる。 3. 健康課題に対応するための資源や法令、制度について説明できる。			
成績評価の方法と基準 主体的参加状況や毎回のレジュメと文献カードの内容により、総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 ガイダンス, 社会環境の変化と最近の健康課題トピックス	大西		
第2回～3回 社会情勢の変化	大西		
第4回～5回 環境の変化	大西		
第6回～7回 健康の社会的決定要因および健康課題への対応	大西		
第8回～9回 健康格差社会について	越田		
第10回～11回 保健事業の効果評価	越田		
第12回～13回 連携・協働・ネットワークに関するモデルと方法	越田		
第14回～15回 地域看護関連文献のクリティーク	越田		
【自学自習】 2回～15回 指定文献を熟読し、毎回レジュメを作成すること。また、関係する文献を提示するとともに、文献カードを作成すること。			
教科書・参考書等 テキスト 近藤克則：健康格差社会，医学書院，最新版。 その他 資料は随時配布する			
オフィスアワー 授業終了後1時間			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 自ら学ぶ姿勢を持ち、おおいにディスカッションできるよう準備してください。			

授業科目名 在宅看護学特論 Advanced Home Care Nursing Ⅰ	科目区分	DPコード [1acGM]	分野コード
担当教員名 松井 妙子	単位数 2	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科	医学系研究科	
	関連授業科目	在宅看護学演習、在宅看護学特別研究、老年看護学特論	
	履修推奨科目	看護研究方法論	看護医科学特論Ⅰ
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 在宅看護学および家族看護学に関して、学生の興味に沿った課題で授業を展開する。日本における在宅療養者支援の制度や専門的知識を学び、実践の在り方およびその教育について討議する。また、在宅看護の研究に関して理解することを目標に授業を展開する。課題に関する文献を素材にして話し合い課題への理解を深める授業を行う。			
授業の目的 在宅看護の特徴、在宅療養者および家族の健康と生活のアセスメントに関連するモデル、ケアマネジメントに関連するモデルを理解し、日本における地域・在宅看護実践のあり方を考える。在宅看護や関連文献を用いた話し合いを通して、在宅看護特有の支援方法と課題を明確にし、今後の在宅医療と看護の在り方について探究することを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 学生の関心領域について、明確に述べることができる 2. 学生の関心領域に関する文献を検索し、提示できる 3. 学生の関心領域に関する文献を読み解き、在宅看護の課題として提示できる 4. 在宅療養者支援の現状と課題について述べることができる 5. 在宅療養者支援の質向上を目指した教育の現状と課題について述べることができる			
成績評価の方法と基準 評価は、1. テーマに応じたプレゼンテーション内容、2. 討議の参加度と深さ、3. 出席状況、提出レポートにより総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 下記のテーマを見本に学生の興味に沿ったプレゼンテーションをもとに、ディスカッションを行う。			
第1回 ガイダンス、在宅看護の対象 第2回 日本の在宅看護の歴史と変遷 第3回 在宅療養者の特徴 第4回 在宅療養者支援のアセスメント内容 第5回 ケアマネジメント理論 第6回 看護とケアマネジメント 第7回 他職種との連携とチームアプローチ 第8回 チームアプローチの質評価 第9回 在宅療養者支援におけるチームアプローチ研究 第10回 訪問看護の質評価・ケアの質評価と改善方法 第11回 家族ケアに必要な理論と方法 第12回 家族の健康と生活のアセスメント方法 第13回～第14回 在宅看護の現状と在宅看護の展望 第15回 まとめ			
教科書・参考書等 在宅ケア学 (全6巻)、在宅ケア学会編、ワールドプランニング、2015。 明日の在宅医療1巻～7巻、中央法規、2008。 新版訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル、日本看護協会出版会、2012。 在宅ケアリスクマネジメントマニュアル チームが機能するとはどういうことか、エイミー・C・エドモンドソン、野津智子訳、英治出版 ケアの社会学、上野千鶴子、太田出版			
オフィスアワー 授業の前後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 学生の専門分野及び関心領域と地域・在宅看護を関連させて探求すること			

授業科目名 (時間割コード: 963201) 精神看護学特論 Advanced Mental Health and Psychiatric Nursing	科目区分	DPコード 1 abcGM	分野コード
単位数 2	時間割	前期 未定	
担当教員名 渡邊 久美	対象年次及び学科	医学系研究科	
	関連授業科目	精神看護学演習、老年・精神看護学特別研究	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 精神保健の歴史や制度を概観後、現代のケアシステムにおいて精神健康に障害をもつ人への看護アプローチの手法やケアモデルの開発に向けた研究プロセスの基礎を学ぶ。特に地域・在宅ケアにおける精神障害当事者を抱える家族支援の検討を通して、専門援助職チームにおいて医療とケアの調整を担うことができる看護の専門性を発揮した家族とのパートナーシップ形成に基づく家族ケアの在り方を探求する。			
授業の目的 精神保健の歴史的潮流を踏まえ、我が国の保健福祉施策の動向を理解した上で、現代の日本社会における精神保健上の諸問題を洞察する力を養う。また、精神看護の専門性に根差し、対象となる人のストレス緩和から自己実現までのアプローチの開発過程・方法について学ぶ。地域において、当事者及びその家族を支援していくための看護ケアモデルの開発に向けて、既存の理論や先行研究に基づき検討し、日本人の特性に添ったケアの在り方を探求していく。 (以上DPの「専門知識・理解」、「研究能力・応用力」、「倫理観・社会的責任」に対応する)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 日本の精神障害者の処遇の変遷を、社会・文化・時代などの歴史的な文脈の中で理解できる。 2. 現代社会における精神保健の現状と課題、法制度について説明できる。 3. 精神科領域の問題解決に向けた看護アプローチについて、研究的に取り組む方法を検討できる。 4. 多職種連携における精神障害者の家族ケアにおける看護の役割と課題を述べるができる。			
成績評価の方法と基準 プレゼンテーション内容、ディスカッション内容、レポートから総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 オリエンテーション 第2回 精神保健福祉の歴史の変遷と法制度 (1) 第3回 精神保健福祉の歴史の変遷と法制度 (2) 第4回 精神保健福祉の歴史の変遷と法制度 (3) 第5回 メンタルヘルスに関する現代の諸問題 (1) 第6回 メンタルヘルスに関する現代の諸問題 (2) 第7回 メンタルヘルスに関する現代の諸問題 (3) 第8回 精神看護関連理論 (対人関係理論、ストレングスモデル) 第9回 在宅ケアにおける家族支援モデル (1) 家族看護 第10回 在宅ケアにおける家族支援モデル (2) 介護負担への支援 第11回 在宅ケアにおける家族支援モデル (3) QOLの評価 第12回 在宅ケアにおける家族支援モデル (4) 主介護者と当事者との関係性 第13回 在宅ケアにおける家族支援モデル (5) 家族員、地域との関係性 第14回 在宅ケアにおける家族支援モデル (6) 多職種連携における看護の役割 第15回 まとめ			
教科書・参考書等 参考書: 基弘他編、精神医学と疾病概念、みすず書房 小俣和一郎: 精神病院の起源、太田出版 オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 精神保健の歴史や文化的背景を踏まえた上で、これからの時代に必要な看護モデルの開発に向けて看護専門職としてどう行動すればよいかを考えること。現場の課題を研究課題に転換し、研究的に介入しながら、さらにその変化を評価する方法について、自ら学び、構築していく姿勢を持つこと。			

授業科目名 看護医科学演習 Seminar in Medical Science of Nursing	科目区分	DPコード 2abcGM	分野コード
担当教員名 峠 哲男, 藤井 豊, 筒井 邦彦	単位数 4	時間割	前期 未定
	対象年次及び学科 1～2 医学系研究科		
	関連授業科目 特になし		
	履修推奨科目 看護医科学特論		
学習時間 授業90分×30回＋自学自習			
授業の概要 看護に関連する医学的論文をインターネットで検索する能力、さらには論文を読解して論文の要旨を述べる能力、研究計画の立て方、研究の進め方や解析方法及び研究結果に対する考察の仕方を習得し、研究計画書や修士論文作成に必要な基礎的知識を習得する。			
授業の目的 実際に研究計画書を作成するため、自ら看護に関する医学的な問題点を認識する (b)。関係する論文や先行研究を収集する能力を身につける (a、c)。各自の研究テーマの策定と、その研究方法の基本を理解する (b)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 関心のある論文を検索・検討し、自らの研究課題との関連性を明確化できる。 2. 研究の立案、研究の進め方、研究方法を選択できる。 3. 研究結果の予測と考察の仕方について説明できる。 4. 最終的に研究計画書を作成できる。			
成績評価の方法と基準 各自の学習の内容と密度、研究計画書作成の過程の各ステップに関するプレゼンテーション、討論への参加及び研究計画書の完成度を総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1～5回	文献検索	峠、藤井、筒井	
6～7回	各自の関心と研究予定のテーマについてプレゼンテーション	〃	
8～25回	文献輪読、抄読及び研究計画書の作成	〃	
25～28回	研究計画書についてプレゼンテーション	〃	
29～30回	研究計画書の最終修正と提出	〃	
教科書・参考書等 別途提示する。			
オフィスアワー 月曜日、木曜日午後6時以後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義日程については随時相談に応じます。			

授業科目名 (時間割コード: 961005) 基礎看護学演習 Seminar in Fundamental Nursing	科目区分	DPコード 2bcdGM	分野コード
担当教員名 名越 民江, 南 妙子	単位数 4	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科 1～	医学系研究科	
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×30回 + 自学自習			
授業の概要 1. 基礎看護学領域の国内外における研究の動向を把握し、自己の研究テーマにそった先行 研究の文献のクリティークを行う。 2. 研究計画書の検討ならびに大学院修士課程中間発表会に向けて指導する。 3. 研究計画書の作成ならびに倫理委員会受審に向けて指導する。			
授業の目的 1. 基礎看護学領域における先行研究の概要について理解する。 2. 各自の研究領域の先行研究の概要について理解する。 3. 研究デザインの設計ならびに、研究計画書、研究倫理について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究課題を具体的に述べることができる。 2. 国内外における研究課題領域の研究の動向と成果について概括することができる。 3. 研究計画書に記述した内容について説明することができる。 4. 倫理委員会受審を計画することができる。			
成績評価の方法と基準 課題レポートの提出およびプレゼンテーション、授業への貢献度を総合して行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 ディスカッションやプレゼンテーションを取り入れて展開する。			
第1回～第2回 ガイダンス 第3回～第4回 基礎看護学領域における文献検索 (1) (2) 第5回～第6回 基礎看護学領域における文献検索 (3) (4) 第7回～第8回 基礎看護学領域における文献検索 (5) (6) 第9回～第10回 概要まとめ 第11回～第12回 基礎看護学領域における先行研究のクリティーク (1) (2) 第13回～第14回 基礎看護学領域における先行研究のクリティーク (3) (4) 第15回～第16回 基礎看護学領域における先行研究のクリティーク (5) (6) 第17回～第18回 概要まとめ 第19回～第20回 各自の研究領域における先行研究の概要まとめ (1) (2) 第21回～第22回 各自の研究領域における先行研究の概要まとめ (3) (4) 第23回～第24回 各自の研究領域における先行研究の概要まとめ (5) (6) 第25回～第26回 各自の研究課題の設定と研究デザインの設計 (1) (2) 第27回～第28回 各自の研究課題の設定と研究デザインの設計 (3) (4) 第29回 各自の研究課題の設定と研究デザインの設計 (5) 第30回 まとめ * 前期8月、後期2月に修士論文中間発表会において発表する (必修)			
教科書・参考書等 特に指定はしないが、研究方法論等で紹介された図書の活用を勧める。			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自研究計画は、研究目的を絶えず意識して進めることを心がけて下さい。			

授業科目名 急性期成人看護学演習 Adult Health Acute Nursing Seminar	科目区分	水準DPコード 2bacGM	分野コード
	単位数 4		
担当教員名 市原多香子	対象年次及び学科 1年 医学系研究科看護学専攻		
	関連授業科目 急性期成人看護学特論、慢性期成人看護学特論、特別研究		
	履修推奨科目 看護研究方法論1、看護研究方法論2		
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 成人・老人患者を対象とした健康危機状況の予防と回復促進のための看護実践の中から、問題となる看護現象を研究疑問として捉え、自らの研究課題を焦点化していく支援を行います。文献学習により研究課題とその意義を明確にして、研究課題の解決に向けた適切な研究方法をグループ討議によって追求します。このプロセスを経て研究計画書の作成を支援します。			
授業の目的 成人看護領域における健康障害をもった対象とその家族の問題となる看護現象について、文献検討およびクリティークを通して自らの研究課題を焦点化し、研究課題を解決する適切な研究方法を理解したうえで研究計画書を作成する力を身につけることを目的とします。			
到達目標 1. 研究疑問に関して文献レビューを行い、研究課題を明確にできる。 2. 研究課題を解決するための多様な研究方法について学習し、発表できる。 3. 研究で主要概念となる用語を定義し、説明できる。 4. 発表した研究方法の中で、研究課題の解決に適した研究方法を根拠をもって選択できる。 5. 研究計画書を作成することができる。			学習・教育目標
成績評価の方法と基準 出席状況と主体的参加度、プレゼンテーション資料、研究計画書の内容を総合的に判断します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 研究計画書を作成するステップの基本となる知識について、各自が整理したものをプレゼンテーションし、参加者相互のディスカッションを通して理解を深めます。 第1～2回 研究計画書を作成するための導入 第3～4回 研究疑問から研究課題への検討 第5～6回 研究課題に関連した文献検討の発表1 第7～8回 研究課題に関連した文献検討の発表2 第9～10回 研究課題に関連した文献検討の発表3 第11～12回 成人看護学領域での研究課題の意義の検討 第13～14回 主要概念の用語の定義 第15～16回 主要概念と類似概念の比較 第17～18回 研究課題解決に向けた研究デザインの検討 第19～20回 研究課題解決に向けた研究方法の検討1 第21～22回 研究課題解決に向けた研究方法の検討2 第23～24回 研究における倫理的問題についての検討 第25～26回 研究計画書の作成1 第27～28回 研究計画書の作成2 第29～30回 研究計画書の修正と発表、まとめ			
教科書・参考書等 D. F. ポーリット&C. T. ベック 著、近藤潤子監訳、看護研究-原理と方法、第2版、医学書院、2011年(9500円+税) Pamela J. Brink、小玉香津子訳、看護研究計画書-作成の基本ステップ、日本看護協会、2000年(3300円+税) その他、研究課題および研究進行度を考慮し、適宜紹介します。			
オフィスアワー 講義終了後1時間			

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に研究テーマに関する多くの書物や文献をよく読んで、知識を整理してから演習に臨んでください。

授業科目名 (時間割コード: 962022) 慢性期成人看護学演習 Adult Health Chronic Nursing	科目区分	DPコード cabM	分野コード
	単位数 4	時間割 前期 未定	
担当教員名	対象年次及び学科	医学系研究科	
	関連授業科目	看護教育学 看護研究方法論	
清水 裕子	履修推奨科目	看護教育学 看護研究方法論	
学習時間 授業90分×30回 + 自学自習			
授業の概要 慢性期成人看護学演習では、修士論文計画書作成と中間発表が主な内容である。 学生の関心領域のテーマについて文献検索し、クリティークを繰り返して研究テーマを絞り込む。 研究テーマを明らかにするための研究方法の妥当性を検討して、倫理委員会受審までの研究計画書を作成する。その段階で中間発表会に臨み、発表方法や質疑応答の方法を学び、研究方法を具体化していく段階までを行う。			
授業の目的 慢性期成人慢性期から終末期にある成人とその家族の看護を発展させるために、各自が選択したテーマに基づいて、実現可能性のある研究計画を概ね作成できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究疑問を研究課題として明確化できる。 2. 研究課題に関連する文献検索を行って実現可能性を明らかにできる。 3. 研究に用いる主要概念を整理・説明することができる。 4. 研究課題を解決する妥当な研究方法を説明できる。 5. 以上から、計画書として作成し、他者の質疑に応答できる。			
成績評価の方法と基準 参加度、取り組み態度、プレゼンテーション、計画書内容など総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画 研究計画書を作成するためのに必要な基本知識と計画書作成までの学習内容を適切に発表し、発展させる。 第1～2回 研究計画書の作成までのガイダンス 清水 第3～10回 研究課題に対応する文献の検索結果の発表 清水 第11～12回 研究の意義の明確化 清水 第13～16回 研究の主要概念の説明と整理 清水 第17～18回 研究デザインの検討 清水 第19～22回 研究方法の検討 清水 第23～24回 研究における倫理的問題の検討 清水 第25～28回 研究計画書の作成 清水 第29～30回 中間発表会における発表と質疑応答 清水 【自学自習へのアドバイス】 各授業は、院生各自が資料となるレジュメを準備し、討論形式で行う。			
教科書・参考書等 ゼミにて随時提示する。			
オフィスアワー ゼミ日に実施する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自の進行状況にあわせて相談に応じる。			

授業科目名 (時間割コード: 962103) 小児看護学演習 Pediatric Nursing Seminar	科目区分 単位数 4	DPコード 2bacGM	分野コード 前期 未定
担当教員名 谷本 公重, 鈴木 智子	対象年次及び学科 1〜 医学系研究科	関連授業科目 小児看護学特論、小児看護学特別研究	
履修推奨科目 看護倫理学、看護研究方法論Ⅰ、看護研究方法論Ⅱ、小児看護学特論、小児看護学特別研究			
学習時間 授業90分×30回+自学自習			
授業の概要 それぞれのテーマに沿って文献をクリティークおよびレビューしつつ、研究テーマの明確化を支援します。さらに、文献検討をすすめて、自己の研究方法を具体的に検討し、研究計画書の作成を支援します。なお、院生間の発表、ディスカッションは概念の明確化や論理的表現を助けるため、履修者は積極的に参加する事を求めます。			
授業の目的 小児看護分野での主要なテーマに関する論文をクリティーク・レビューし、研究テーマを決定する。そのうえで、研究の基本要件を踏まえて、研究計画書を作成することを目的とする。			
到達目標 1. 研究の問いに関して文献レビューを行い、研究課題を明確化できる。 2. 自己の研究課題を過去の研究の蓄積の中で適切に位置づけることができる。 3. 研究課題に応じた適切な研究対象者や研究方法を選択できる。 4. 研究計画書を作成できる。 (以上、DPの「研究能力・応用力」「専門知識・理解」および「倫理観・社会的責任」に対応)			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
成績評価の方法と基準 講義での発言、プレゼンテーションや討議の内容およびレポートから、積極性・論理性・理解力・表現力等を総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義および院生によるプレゼンテーションと討議で展開する。そのため、自学自習による準備・学習が必要。			
第1〜5回 文献レビューによる研究テーマの明確化 第6〜7回 知見の整理 第8〜9回 研究すべき問題の発見 第10回 リサーチミーティング 第11〜13回 研究目的の明確化 第14〜15回 研究枠組み・仮説の立案 第16〜19回 研究方法の検討: 研究デザイン 第20〜21回 研究方法の検討: 対象の選定、取り込み基準、除外基準 第22〜23回 研究方法の検討: 倫理的配慮 第24〜27回 研究方法の検討: 分析方法 第28回 リサーチミーティング 第29〜30回 研究計画書作成			
教科書・参考書等 ・Hulley, SB. et al (2007)/木原雅子, 木原正博訳(2009): 医学的研究のデザイン(第3版), メディカル・サイエンス・インターナショナル. (4,935円) ・Mitchell HK. (2010)/木原雅子, 木原正博訳(2013): 医学的介入の研究のデザインと統計, メディカル・サイエンス・インターナショナル. (3,885円) ・Byrne, DW. et al. (1998)/木原正博, 木原雅子訳(2001): 国際誌にアブセプトされる医学論文, メディカル・サイエンス・インターナショナル. (4,725円) ・Burns N, Grove SK (2005)/ 黒田裕子, 中木高夫, 小田正枝, 逸見功訳(2007): パーンズ&グローブ看護研究入門ー実施・評価・活用ー, エルゼビア・ジャパン. (8,000円) ・APA(2010)/前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳(2011): APA論文作成マニュアル, 医学書院. (3,990円) ・前田樹海, 江藤裕之 (2012): APAに学ぶ看護系論文執筆のルール, 医学書院. (1,890円)			
その他、研究課題および研究進捗度を考慮し、適宜紹介します。			
オフィスアワー 講義予定日の18時から22時。また、メール等で適宜受け付けます。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講読する文献に関しては、医学部図書館でガイダンスしていただける医中誌、PubMed等を用いて系統的に検索を行い、文献管理ツール(Mendeley)を利用して効率よく管理してください。 実際に研究に取り掛かるためには、年2回開催される修士論文中間発表会での発表が必要となります。このことを考慮し、計画を作成することが必要です。			

授業科目名 (時間割コード: 962203) 母性看護学演習 Maternal Nursing Seminar	科目区分	DPコード 2bc×GM	分野コード
担当教員名 佐々木 睦子, 石上 悦子	単位数 4	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科	1～ 医学系研究科	
	関連授業科目	母性看護学特論	
	履修推奨科目	母性看護学特論	
学習時間 講義90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 母性看護学領域における自己の研究課題と研究方法について探求する能力を養う			
授業の目的 文献による先行研究の検討から、自己の研究課題に即した研究方法の明確化をはかる 研究が実施できるよう準備をする (DPの「研究能力・応用力」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 文献による研究の動向から、研究テーマについて検討できる 2. テーマにより研究目的が明確にできる 3. 研究計画書が作成できる 4. 中間発表に向けて準備し発表できる 5. 研究計画書の修正ができる			
成績評価の方法と基準 プレゼンテーション、レポート内容と研究計画書で総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
講義と演習、課題へのプレゼンテーション、ディスカッション			
第 1回～第 2回 ガイダンス、母性看護学領域における研究の動向 第 3回～第 4回 母性看護学領域における研究の動向 第 5回～第 6回 母性看護学領域の研究論文クリティーク 第 7回～第 8回 母性看護学領域の研究論文クリティーク 第 9回～第10回 文献クリティークによる研究課題の検討ー量的研究 第11回～第12回 文献クリティークによる研究課題の検討ー質的研究 第13回～第14回 研究課題の明確化 第15回～第16回 研究課題の明確化 第17回～第18回 研究計画書ー研究デザインの検討 第19回～第20回 研究計画書ー研究方法論の検討 第21回～第22回 研究計画書ー研究方法論の検討 第23回～第24回 研究計画書ー倫理的問題 第25回～第26回 研究計画の発表準備 第27回～第28回 研究計画の発表 第29回～第30回 研究計画書修正、まとめ			
自学自習 講義時間だけでは十分に検討された研究計画書作成は難しいため、主体的な自学自習が重要			
教科書・参考書等 参考書 1. D.F. ポーリット/C.T. ベック, 近藤潤子監訳: 看護研究ー原理と方法(第2版), 医学書院, 2010. 2. キャロル・ガービッチ, 上田礼子他訳: 保健医療職のための質的研究入門, 医学書院, 2003. 3. 谷津裕子: Start Up質的看護研究 第2版, 学研, 2015. 4. I. ホロウエイ S. ウイラー, 野口美和子監訳: ナースのための質的研究入門第2版, 医学書院, 2006. 5. 戈木クレイグヒル滋子: 質的研究方法ゼミナール, グランデットセオリー・アプローチを学ぶ, 第2版, 医学書院, 2013. 6. 山本則子, 荻原真美他: グランデットセオリー法を用いた看護研究のプロセス, 文光堂, 2005. 7. APA(アメリカ心理学会), 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳: APA論文作成マニュアル第2版, 医学書院, 2011. *随時提示する			
オフィスアワー 講義終了後, 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ *国内外の看護系学会に積極的に参加し, 最新の研究動向やプレゼンテーションの実際を学ぶことで, 研究能力育成を期待する。 *授業の準備等, 学生の主体的参加を求める。			

授業科目名 老年看護学演習 Gerontological Nursing Seminar	科目区分		DPコード 2bacGM	分野コード
	単位数	4	時間割	前期 未定
	対象年次及び学科 医学系研究科			
	関連授業科目 老年看護学特論、老年看護学特別研究			
担当教員名 大森 美津子	履修推奨科目 看護研究方法論、看護研究特論			
	学習時間 授業 90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 研究の概要について理解を深めた上で、様々な視点から研究テーマを検討し、研究テーマを絞り込む。研究に用いられる概念に基づいた文献検討を行い、その概念に関する研究について見識を深め、研究方法を検討する。研究計画書の作成を行い、中間発表により得られた意見も参考に研究計画書を修正する。				
授業の目的 老年看護の領域の対象とその家族が置かれている状況や体験について学ぶと共に、老年看護の領域の対象とその家族の看護及び援助の実態について学ぶ。その中で、修士論文のテーマを明らかにし、研究テーマに関連する文献検討を行う。研究方法を検討しながら、修士論文の計画書を作成をめざす。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 老年看護の対象とその家族が置かれている状況や体験を説明できる。 2. 老年看護の対象とその家族の看護及び援助の実態について説明できる。 3. 修士論文のテーマを述べることができる。 4. 研究テーマに関連する文献検討の結果、わかったことを説明できる。 5. 修士論文の計画書を作成できる。				
成績評価の方法と基準 レポートと修士論文の計画書を総合的に評価する。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義、テーマに基づいた院生のプレゼンテーション、テーマに関するディスカッションを行い、適宜レポートや計画書を提出する。				
第1回	オリエンテーション		大森	
第2、3回	文献批判による内容の把握		大森	
第4、5回	文献批判による内容の把握		大森	
第6、7回	文献批判による内容の把握		大森	
第8、9回	研究テーマに関する検討		大森	
第10、11回	研究テーマに関する検討		大森	
第12、13回	研究テーマに関する検討		大森	
第14、15回	研究テーマに関連する文献検討(研究方法)		大森	
第16、17回	研究テーマに関連する文献検討(研究方法)		大森	
第18回	研究計画書の作成(研究テーマの検討)		大森	
第19回	研究計画書の作成(研究の背景・意義の検討)		大森	
第20回	研究計画書の作成(研究の目的の検討)		大森	
第21回	研究計画書の作成(研究の方法の検討)		大森	
第22回	研究計画書の作成(研究の倫理的配慮の検討)		大森	
第23回	中間発表		大森	
第24回	研究計画書の作成(研究テーマの修正)		大森	
第25回	研究計画書の作成(研究の背景・意義の修正)		大森	
第26回	研究計画書の作成(研究の目的の修正)		大森	
第27回	研究計画書の作成(研究の方法の修正)		大森	
第28回	研究計画書の作成(研究の倫理的配慮の修正)		大森	
第29回	研究計画発表		大森	
第30回	まとめ		大森	
教科書・参考書等 別途指示する。				
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ わかりやすい研究に関する本を参考にしながら、関心のあるテーマに主体的に取り組んで欲しい。				

授業科目名 (時間割コード: 963003) 地域看護学演習 Community Health Nursing Seminar	科目区分	DPコード 1bcaGM	分野コード
担当教員名 大西 美智恵, 越田 美穂子	単位数 4	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科	1～ 医学系研究科	
	関連授業科目	看護研究方法論 1, 看護研究方法論 2	
	履修推奨科目	地域看護学特論	
学習時間 講義 90分×30回+ 自学自習			
授業の概要 1. 量的ならびに質的研究、そして両者を一緒に用いるミックス法をデザインしていく際に必要となる概念枠組み、研究のプロセスとそのプロセスを進めていくためのアプローチについて学ぶ。 2. 地域看護学分野における各自の研究を進めるために、地域看護研究の進め方とまとめ方を学ぶ。 3. 各自のテーマに関連した文献をクリティークすることを通して、先行研究の動向を踏まえつつ、各自の研究テーマを決定し研究計画書を作成する。 4. M2生の研究進捗状況の発表をもとに、系統だった看護研究の進め方を学ぶ			
授業の目的 1. 看護研究の地域看護研究の進め方とまとめ方が理解できる (DPの「専門知識・理解」に対応)。 2. 自らの研究テーマ・目的・方法を明確にして、研究計画書を作成できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 先行研究の動向を文献レビューにまとめ、自らの研究の方向性を確認できる。 2. 各自の研究テーマを決定する。 3. 研究テーマに沿った研究目的を研究可能な次元に具体化できる。 4. 研究目的に沿った研究対象を選定できる。 5. 研究目的に沿った研究方法を選択できる。 6. 研究計画書を作成できる。			
成績評価の方法と基準 出席状況および主体的参加状況 (10%), 発表資料 (20%) 研究計画書の完成度 (70%)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
文献1を読み理解しよう 第1回: ガイダンス, 研究デザインの枠組み 大西・越田 第2回: 文献レビュー, 執筆戦略と倫理的配慮 大西・越田 第3回: 序論について, 目的の言明 大西・越田 第4回: 研究上の問いと仮説, 理論の活用 大西・越田 : 自らのテーマと研究デザイン・文献レビューの発表 第5回: 定義・限界・意義 大西・越田 第6回: 自らの研究の序論・目的・仮説・理論の活用について発表 大西・越田 第7回: 量的研究法 大西・越田 第8回: 自らの研究の定義・限界・意義について発表 大西・越田 第9回: 質的研究法 大西・越田 第10回: 自らの研究計画書の発表 その1 大西・越田 第11回: ミックス法 大西・越田 第12回: 自らの研究計画書の修正と発表 その2 大西・越田			
文献2を読み理解しよう 第13回: 地域保健活動と研究 大西・越田 : 地域保健活動における疫学研究 : 自らの研究計画書の修正と発表 その3 第14回: 地域看護活動における質的研究 大西・越田 : 地域保健活動における経済評価 : 自らの研究計画書の修正と発表 その4 第15回: 研究計画書のまとめ・提出 大西・越田			
【自学自習のアドバイス】 第1回～第8回 文献1の講義の範囲を読む, 前回の講義を復習し発表資料を作成する 第9回～第12回 文献1の講義の範囲を読む, 研究計画を作成する 第13回～第14回 文献2の講義範囲を読む, 研究計画書を作成する 第15回 研究計画書を完成させる			

教科書・参考書等 1. JonW.Creswella著, 操華子・森岡崇訳: 研究デザインー質的・量的・そしてミックス法ー, 日本看護協会出版会, 最新版. 2. 横山美江: 地域看護研究の進め方・まとめ方, 医歯薬出版, 最新版. 3. その他 授業中に順次紹介する。
オフィスアワー 授業終了後1時間 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 1. JonW.Creswella著, 操華子・森岡崇訳: 研究デザインー質的・量的・そしてミックス法ー, 日本看護協会出版会, 最新版. (3,000円) 2. 横山美江: 地域看護研究の進め方・まとめ方, 医歯薬出版, 最新版. (3,600円) 3. その他 授業中に順次紹介する。

授業科目名 在宅看護学演習 Seminar in Home Care Nursing	科目区分	DPコード 「labGM」	分野コード
	単位数 4	時間割 前期 未定	
担当教員名 松井 妙子	対象年次及び学科	1～ 医学系研究科	
	関連授業科目	在宅看護学特論、在宅看護学特別研究	
	履修推奨科目	看護研究方法論、看護倫理学	
学習時間 授業90分×30回 + 自学自習			
授業の概要 教員は学生の関心領域に沿って、先行研究の動向を調べ、文献レビューを行うよう指導する。次に、学生が興味を持つ研究課題が明確になるよう指導する。			
授業の目的 ① 在宅看護学分野における学生自身の関心領域の論文を読み、研究テーマを明らかにする。 ② 在宅看護学分野における学生自身の関心領域の論文をクリティークし、文献レビューを行い、研究課題を明確にする。 ③ 研究課題から研究目的を明確にする。 ④ 研究目的に沿った研究方法を検討し、研究計画を立てる。 ⑤ 自身の研究計画のプレゼンテーションを行い、研究計画の修正を行う。 ⑥ 倫理審査委員会へ申請を行い、承認を受ける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自己の関心領域に関する論文の文献レビューをまとめることができる。 2. 自己の関心領域に関する先行研究のレビュー、クリティークを行い、研究課題の位置づけを明確に示すことができる。 3. 研究目的を明確に示すことができる。 4. 研究目的に応じた適切な研究対象や研究方法を選択できる。 5. 学生の関心に沿った研究計画書を作成できる。 6. 研究計画を修士論文中間発表会で発表し、研究の質を向上するための意見を収集し、計画書を修正できる。 7. 倫理委員会に研究計画書を提出し、倫理委員会の承認を得ることができる。			
成績評価の方法と基準 評価は、演習授業におけるプレゼンテーション内容、参加状況、作成された研究計画書の内容により総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 院生によるプレゼンテーションと討議で展開する。			
第1～5回 文献レビューによる研究テーマの明確化 第6～10回 知見の整理 第11回～15回 研究課題の抽出 第16回～20回 研究目的の明確化 第21回～25回 研究の枠組み、研究方法、対象選定、分析方法の検討を行い研究計画書作成 第26回 修士論文中間発表会におけるプレゼンテーション 第27回～30回 研究計画書修正作成 医学部倫理審査委員会への申請書類作成			
教科書・参考書等 概念モデルをつくる、NPO法人健康医療評価研究機構 看護における理論構築の方法、 医学書院 看護の重要コンセプト20：看護分野における概念分析の試み、 エルゼビア・ジャパン ナースのための質問紙調査とデータ分析、 第2版、 医学書院 ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで、 第2版、 医学書院 実証研究の手引き 調査と実験の進め方・まとめ方、ワールドランニング			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 学生の専門領域と在宅看護を関連させて探求すること			

授業科目名 (時間割コード: 963202) 精神看護学演習 Mental Health and Psychiatric Nursing	科目区分	DPコード 2bacGM	分野コード
担当教員名 渡邊 久美	単位数 4	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科	医学系研究科	
	関連授業科目	精神看護学特論、老年・精神看護学特別研究	
	履修推奨科目	看護研究方法論、看護研究特論	
学習時間 授業 90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 研究の概要について理解を深めた上で、様々な視点から研究テーマを検討し、研究テーマを絞り込む。研究に用いられる概念に基づいた文献検討を行い、その概念に関する研究について見識を深め、研究方法を検討する。研究計画書の作成を行い、中間発表により得られた意見も参考に研究計画書を修正する。			
授業の目的 精神看護の領域の対象とその家族が置かれている状況や体験について学ぶと共に、高齢者・精神看護の領域の対象とその家族の看護及び援助の実態について学ぶ。その中で、修士論文のテーマを明らかにし、研究テーマに関連する文献検討を行う。研究方法を検討しながら、修士論文の計画書を作成をめざす。 (以上、DPの「研究能力・応用力」、「専門知識・理解」、「倫理観・社会的責任」に対応する)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 精神看護の対象とその家族が置かれている状況や体験を説明できる。 2. 精神看護の対象とその家族の看護及び援助の実態について説明できる。 3. 修士論文のテーマを述べることができる。 4. 研究テーマに関連する文献検討の結果、わかったことを説明できる。 5. 修士論文の計画書を作成できる。			
成績評価の方法と基準 レポート(一貫性・論理性・発展性)と修士論文の計画書を総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義、テーマに基づいた院生のプレゼンテーション、テーマに関するディスカッション、レポート			
第1回 オリエンテーション 第2、3回 文献批判による内容の把握 第4、5回 文献批判による内容の把握 第6、7回 文献批判による内容の把握 第8、9回 研究テーマに関する検討 第10、11回 研究テーマに関する検討 第12、13回 研究テーマに関する検討 第14、15回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法) 第16、17回 研究テーマに関連する文献検討(研究方法) 第18回 研究計画書の作成(研究テーマの検討) 第19回 研究計画書の作成(研究の背景・意義の検討) 第20回 研究計画書の作成(研究の目的の検討) 第21回 研究計画書の作成(研究の方法の検討) 第22回 研究計画書の作成(研究の倫理的配慮の検討) 第23回 中間発表 第24回 研究計画書の作成(研究テーマの修正) 第25回 研究計画書の作成(研究の背景・意義の修正) 第26回 研究計画書の作成(研究の目的の修正) 第27回 研究計画書の作成(研究の方法の修正) 第28回 研究計画書の作成(研究の倫理的配慮の修正) 第29回 研究計画発表 第30回 まとめ			
教科書・参考書等 別途指示する。			
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ わかりやすい研究に関する本を参考にしながら、関心のあるテーマに主体的に取り組んで欲しい。			

授業科目名 特別研究	(時間割コード：965001)		科目区分	DPコード 2bacGM	分野コード
			単位数 10	時間割 前期 未定	
担当教員名 各指導教員			対象年次及び学科 医学系研究科		
			関連授業科目 各領域特論・演習		
			履修推奨科目 研究方法論1・2、看護倫理学		
学習時間 授業90分×75回 + 自学自習					
授業の概要各自の研究テーマにもとづいて研究計画、立案ができるようにアドバイスをを行い、修士論文を完成させることができるように指導をする。					
授業の目的 研究計画書に基づき研究方法論を決定するとともに、用いる方法論の実際を習得する。					
到達目標					学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 研究テーマや研究目的を決定し、研究計画書について説明することができる。 2) 文献検討後、レビューとして記述することができる。 3) データの収集方法、分析方法の妥当性について説明することができる。 4) 倫理的配慮について記述することができる。 5) 論文としての体裁を整え、抄録の作成、修士論文発表会において自己の研究成果を発表することができる。					
成績評価の方法と基準 修士論文および発表内容等を総合して評価する。					
授業計画並びに授業及び学習の方法					
院生と指導教員との対面授業を主とするが、途中において、文書やメールでの指導も併せて行うこともある。					
第1回 ガイダンス					
第2回～第3回 研究テーマ・研究計画書の決定(1)					
第4回～第5回 研究テーマ・研究計画書の決定(2)					
第6回～第7回 研究テーマ・研究計画書の決定(3)					
第8回～第9回 データ収集・コメント(1)					
第10回～第11回 データ収集・コメント(2)					
第12回～第13回 データ収集・コメント(3)					
第14回～第15回 データ収集・コメント(4)					
第16回～第17回 データ収集・コメント(5)					
第18回～第19回 データ収集・コメント(6)					
第20回～第21回 データ収集・コメント(7)					
第22回～第23回 データ収集・コメント(8)					
第24回～第25回 分析(1)					
第26回～第27回 分析(2)					
第28回～第29回 分析(3)					
第30回～第31回 分析(4)					
第32回～第33回 分析(5)					
第34回～第35回 分析(6)					
第36回～第37回 分析(7)					
第38回～第39回 分析(8)					
第40回～第41回 考察(1)					
第42回～第43回 考察(2)					
第44回～第45回 考察(3)					
第46回～第47回 考察(4)					
第48回～第49回 考察(5)					
第50回～第51回 考察(6)					
第52回～第53回 考察(7)					
第54回～第55回 考察(8)					
第56回～第57回 論文の作成					
第58回～第59回 論文の作成					
第60回～第61回 論文の作成					
第62回～第63回 論文の作成					
第64回～第65回 論文の作成					
第66回～第67回 論文の作成					
第68回～第69回 論文の作成					
第70回～第71回 抄録・発表要旨の作成					
第72回～第73回 抄録・発表要旨の作成					
第74回～第75回 資料作成・まとめ					
教科書・参考書等					
オフィスアワー					
履修上の注意・担当教員からのメッセージ					

授業科目名 (時間割コード: 961105) 看護医科学特別研究 Master's thesis	科目区分	DPコード 2abcGM	分野コード
担当教員名 峠 哲男, 藤井 豊, 筒井 邦彦	単位数 10	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科	医学系研究科	
	関連授業科目	看護医科学特論、看護医科学演習	
	履修推奨科目	特になし	
学習時間 授業90分×75回+自学自習			
授業の概要 疫学調査やアンケート調査による量的解析法を用いた研究、人体機能の生理学的計測や実験的介入試験による実証研究、血液学的及び微生物学的方法を用いた感染予防、制御、清潔保持に関する研究等を指導し、最終的に修士論文の作成を行う。			
授業の目的 実際に修士論文を作成するため、各自のテーマに基づく研究を遂行する能力を身につける (c)。テーマに基づいた研究方法を身につけデータの解析、考察を行う (b)。得られた研究成果をプレゼンテーションする能力を身につける (a)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護に関する医学的問題点から、選択した研究テーマについて、自ら研究を実施できる。 2. 最終的に修士論文をまとめ、プレゼンテーションを行うことができる。			
成績評価の方法と基準 修士論文作成過程、内容、進行中の発表内容、提出により評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1～10回	研究計画の再検討とリサーチミーティング	峠、藤井、筒井	
11回	修士論文中間発表会		
12～50回	研究実施	〃	
51～60回	データ分析	〃	
61～70回	修士論文作成	〃	
71～75回	修士論文の完成、プレゼンテーション	〃	
教科書・参考書等 別途掲示する			
オフィスアワー 月曜日、木曜日の午後6時以後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義日程については随時相談に応じます。			

授業科目名 (時間割コード: 961006) 基礎看護学特別研究 Master's Thesis	科目区分	DPコード 2bacGM	分野コード
担当教員名 名越 民江, 南 妙子	単位数 10	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科 1~1 医学系研究科		
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×75回 + 自学自習			
授業の概要 各自の研究テーマにもとづいて研究計画、立案ができるようにアドバイスをを行い、修士論文を完成させることができるように指導をする。			
授業の目的 研究計画書に基づき研究方法論を決定するとともに、用いる方法論の実際を習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 研究テーマや研究目的を決定し、研究計画書について説明することができる。 2) 文献検討後、レビューとして記述することができる。 3) データの収集方法、分析方法の妥当性について説明することができる。 4) 倫理的配慮について記述することができる。 5) 論文としての体裁を整え、抄録の作成、修士論文発表会において自己の研究成果を発表することができる。			
成績評価の方法と基準 修士論文および発表内容等を総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 院生と指導教員との対面授業を主とするが、途中において、文書やメールでの指導も併せて行うこともある。			
第1回 ガイダンス 第2回～第3回 研究テーマ・研究計画書の決定(1) 第4回～第5回 研究テーマ・研究計画書の決定(2) 第6回～第7回 研究テーマ・研究計画書の決定(3) 第8回～第9回 データ収集・コメント(1) 第10回～第11回 データ収集・コメント(2) 第12回～第13回 データ収集・コメント(3) 第14回～第15回 データ収集・コメント(4) 第16回～第17回 データ収集・コメント(5) 第18回～第19回 データ収集・コメント(6) 第20回～第21回 データ収集・コメント(7) 第22回～第23回 データ収集・コメント(8) 第24回～第25回 分析(1) 第26回～第27回 分析(2) 第28回～第29回 分析(3) 第30回～第31回 分析(4) 第32回～第33回 分析(5) 第34回～第35回 分析(6) 第36回～第37回 分析(7) 第38回～第39回 分析(8) 第40回～第41回 考察(1) 第42回～第43回 考察(2) 第44回～第45回 考察(3) 第46回～第47回 考察(4) 第48回～第49回 考察(5) 第50回～第51回 考察(6) 第52回～第53回 考察(7) 第54回～第55回 考察(8) 第56回～第57回 論文の作成 第58回～第59回 論文の作成 第60回～第61回 論文の作成 第62回～第63回 論文の作成 第64回～第65回 論文の作成 第66回～第67回 論文の作成 第68回～第69回 論文の作成 第70回～第71回 抄録・発表要旨の作成 第72回～第73回 抄録・発表要旨の作成			

第74回～第75回 資料作成・まとめ
教科書・参考書等 特に指定なし
オフィスアワー 随時
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 研究目的を絶えず意識して進めることを心がけて下さい。

授業科目名 (時間割コード: 962004) 成人看護学特別研究 Master's Thesis	科目区分	DPコード 2cabGM	分野コード
単位数 10	時間割	前期	未定
担当教員名 清水 裕子	対象年次及び学科	1~1 医学系研究科	
	関連授業科目	看護教育学 看護研究方法論	
	履修推奨科目	看護教育学 看護研究方法論	
学習時間	授業90分×75回 + 自学自習		
授業の概要 慢性成人看護学特別研究では、修士論文作成が中心となる。 各自の関心領域のテーマについて文献検索し、研究テーマを絞り込む。その後研究計画書を作成し、使用する研究方法論を習得するため学習を深める。順次、データ収集、分析、まとめを行う。 授業は、小集団、個人指導が中心になるが、批評的思考を発展させるためにリサーチミーティングを随時実施する。			
授業の目的 成人慢性期から終末期にある成人とその家族の看護を発展させるもの、看護教育学に関連するもの、成人の保険に関するものについて、各自が選択したテーマに基づいて、研究を自らできる能力を養う。また、修士論文としてまとめ、発表する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
各自の研究計画書にそってデータ収集を行い、論文を作成し、公表できる準備ができる。 また、論文作成にあたって、討論の準備や実際の討論、研究における倫理的な手続きを一人で行うことができる。			
成績評価の方法と基準 修士論文作成の過程および修士論文において評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画 研究計画書、分析、まとめは個別指導を中心に行い、計画書の妥当性を高めるため、また研究をクリティカルに進めるために、ゼミでの院生・教員を含めてのリサーチミーティングを行います。			
第1回～6回	研究計画書の作成	清水	
第7～9回	第1回リサーチミーティング	清水	
第10～13回	研究計画書の修正1	清水	
第14～16回	第2回リサーチミーティング	清水	
第17～19回	研究計画書の修正2	清水	
第20～22回	倫理委員会提出書類作成	清水	
第23～24回	第3回リサーチミーティング	清水	
第25～46回	研究実施・分析指導	清水	
第47～66回	修士論文作成指導	清水	
第67～68回	第4回リサーチミーティング	清水	
第67～71回	修論審査後の修正指導	清水	
第72～75回	修論発表後の修正指導	清水	
【自学自習へのアドバイス】 各授業の際には、院生各自が必ず、資料となるレジュメを準備し、討論形式で進めます。			
教科書・参考書等 Brink著、小玉香津子他訳(1999)、『看護研究計画書作成のステップ』日本看護協会出版会、3,465円、書籍部にて購入 ポーリット・ハングラー著、近藤潤子他訳(1994)、看護研究原理と方法、医学書院、11,807円 清水裕子編著(2014)、ヒューマンケアと看護学、ナカニシヤ出版			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自の進行状況にあわせて相談に応じる。			

授業科目名 (時間割コード: 962104) 小児看護学特別研究 Pediatric Nursing Research Practice	科目区分	DPコード 2bacGM	分野コード
	単位数 10	時間割 前期 未定	
担当教員名 谷本 公重, 鈴木 智子	対象年次及び学科	1~1 医学系研究科	
	関連授業科目	小児看護学特論、小児看護学演習	
	履修推奨科目	看護倫理学、看護研究方法論Ⅰ、看護研究方法論Ⅱ、小児看護学特論、小児看護学演習	
学習時間 授業90分×75回 + 自学自習			
授業の概要 小児看護学分野における各自の研究テーマを倫理的課題を考慮のうえ探求し、研究を企画・実践し、修士論文を完成することをねらいとしています。 修士論文の作成にあたっては、国内外の知見を総覧し、研究課題を明確にできる能力や研究目的を追求できる合理的な判断力と実践力、データ分析に関わる統計技法の修得を促していきます。また研究成果を科学的に論拠づけ、科学の発展に寄与できる論文の完成をめざします。			
授業の目的 小児看護学における知識や理論およびその成立過程を身につけ、修士論文を完成させることを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自己の研究課題に基づいて、指導を受けながら自ら研究を遂行することができる。 2. 科学的論文のあり方を説明知ることができる。 3. 自らの研究課題を論文をまとめ、発表することができる。 (以上、DPの「研究能力・応用力」「専門知識・理解」および「倫理観・社会的責任」に対応する)			
成績評価の方法と基準 研究過程での学習内容、修士論文および発表内容等を考慮して評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 修士論文の進行状況に応じて院生のプレゼンテーションや教室全体での討議をおこない、研究を実施します。従って、事前・事後の自己学習と院生相互でのディスカッションが重要となる。			
第1~3回 研究計画の再検討 第4~5回 リサーチミーティング 第6~15回 データ収集 第16~20回 データ整理と解釈 第21~30回 データ分析 第31~34回 リサーチミーティング 第35~44回 修士論文作成指導 第45~64回 考察 第65~69回 発表準備 抄録・発表要旨の作成 第70~72回 修士論文審査後の論文修正 第73~75回 修士論文発表後の論文修正			
教科書・参考書等 ・Burns N, Grove SK (2005)/ 黒田裕子, 中木高夫, 小田正枝, 逸見功訳(2007): バーンズ&グローブ看護研究入門ー実施・評価・活用ー, エルゼビア・ジャパン. (8,000円) ・APA(2010)/前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳(2011): APA論文作成マニュアル, 医学書院. (3,990円) ・前田樹海, 江藤裕之 (2012): APAに学ぶ看護系論文執筆のルール, 医学書院. (1,890円)			
その他、研究課題・論文作成状況に合わせて適宜提示、紹介します。			
オフィスアワー 講義予定日の18時から22時。また、メール等で適宜受け付けます。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講読する文献に関しては、医学部図書館でガイダンスしていただける医中誌、PubMed等を用いて系統的検索を行い、文献管理ツール (Mendeley) を利用して効率よく管理してください。また、論文執筆の基本的ルールに関しても、上記「教科書・参考書等」で提示したAPA論文作成マニュアルおよびAPAに学ぶ看護系論文執筆のルールを自ら活用し、理解を得るようにしてください。			

授業科目名 (時間割コード: 962204) 母性看護学特別研究 Maternal Nursing Research Practice		科目区分	DPコード 2bc×GM	分野コード
担当教員名 佐々木 睦子, 石上 悦子		単位数 10	時間割 前期 未定	
		対象年次及び学科 1～1 医学系研究科		
		関連授業科目 母性看護学特論, 母性看護学演習		
		履修推奨科目 母性看護学特論, 母性看護学演習		
学習時間 講義90分 × 75回 + 自学自習				
授業の概要 女性の生涯を通じたリプロダクティブヘルス/ライツの概念に基づき、女性とその家族の健康問題や今日的課題について、研究計画書に基づいて主体的に研究を遂行し、科学的な修士論文作成に向けた研究実践能力を養う。				
授業の目的 各自の研究テーマの研究計画書に基づいて研究を実施し、結果の解析、結果に基づく考察を検討し科学的な修士論文を作成する (DPの「研究能力・応用力」に対応)				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 選択した研究テーマと研究計画書に基づいて主体的に研究を遂行することができる。 2. 研究計画書に基づきデータ収集し結果としてまとめることができる。 3. 得られた結果にもとづいて、考察することができる。 4. 修士論文の形式に沿って論文をまとめることができる。				
成績評価の方法と基準 修士論文の提出により評価する				
授業計画並びに授業及び学習の方法				
講義, 個別指導, ゼミのリサーチミーティング				
第 1－6回 研究テーマの再検討と文献レビュー 第 7－8回 リサーチミーティング: 研究テーマ, 目的, 方法 第 9－10回 研究計画書追加修正 第11－14回 倫理委員会提出書類作成とプレゼンテーション準備 第15－16回 研究計画書修正 第17－18回 リサーチミーティング: 進捗状況発表 第19－26回 研究データ収集 第27－34回 研究データ解析, 結果 第35－36回 リサーチミーティング: 進捗状況発表 第37－44回 修士論文作成－結果までの作成 第45－50回 修士論文作成－研究結果に基づく考察検討 第51－52回 リサーチミーティング: 進捗状況発表 第53－58回 修士論文審査後の追加修正 第59－62回 修士論文の発表準備, 資料作成 第63－66回 発表後の追加修正 第67－70回 審査結果による修士論文の修正 第71－72回 修士論文作成, 要旨作成 第73－75回 修士論文の完成・提出				
自学自習 毎回研究進捗状況に応じた資料を準備する				
教科書・参考書等 参考書 1. D.F. ポーリット/C.T. ベック, 近藤潤子監訳: 看護研究－原理と方法(第2版), 医学書院, 2010. 2. キャロル・ガービッチ, 上田礼子他訳: 保健医療職のための質的研究入門, 医学書院, 2003. 3. 谷津裕子: Start Up質的看護研究 第2版, 学研, 2015. 4. P.J.Brink M.J.Wood, 小玉香津子・輪湖史子訳: 看護研究 原理と方法, 医学書院, 2006. 5. I. ホロウエイ S. ウィラー, 野口美和子監訳: ナースのための質的研究入門第2版, 医学書院, 2006. 6. 戈木クレイグヒル滋子: 質的研究方法ゼミナール, グランデットセオリー・アプローチを学ぶ 第2版, 医学書院, 2013. 7. P.J.Brink, Wood, 小玉香津子・輪湖史子訳: 看護研究計画書作成のステップ, 日本看護協会, 1999. 8. 山本則子, 荻間真美他: グランデットセオリー法を用いた看護研究のプロセス, 文光堂, 2005. 9. APA(アメリカ心理学会), 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳: APA論文作成マニュアル第2版, 医学書院, 2011. *随時提示する				
オフィスアワー 講義終了後, 随時				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義への準備等, 学生の主体的な取り組みを求める。 研究課題に関連した多くの文献を読み, 活用する。				

授業科目名 (時間割コード: 962304) 老年・精神看護学特別研究 Master's Thesis	科目区分		DPコード 2bcaGM	分野コード
	単位数	10	時間割	前期 未定
	対象年次及び学科 1～1 医学系研究科			
	関連授業科目 老年・精神看護学特論Ⅰ、老年・精神看護学特論Ⅱ、老年・精神看護学演習			
担当教員名 大森 美津子, 渡邊 久美	履修推奨科目 看護研究方法論、看護研究特論			
学習時間 授業 90分 × 75回 + 自学自習				
授業の概要 各自の研究テーマにもとづいて研究計画、立案を行い、主体的に研究のプロセスを実践し、修士論文を作成するとともに発表する。これらのプロセスを踏むことで、研究に関する知識や研究方法の基礎を身につけることができる。				
授業の目的 各自の研究のテーマに沿った研究方法や倫理的配慮などの研究計画に必要な判断ができる。そして研究計画に沿った研究実践について理解でき、絶え間ない意志決定を行いつつ、研究を遂行する。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 高齢者・精神看護の領域における研究テーマを決めることができる。 2. 研究計画書を作成することができる。 3. 研究計画書に基づいて、主体的に研究のプロセスを実践することができる。 4. 修士論文としてまとめることができ、発表できる。				
成績評価の方法と基準 修士論文の提出により評価する。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 学生と指導教員との対面授業を主とするが、文書やメールでの指導を併せて行う。				
第1回	オリエンテーション		大森、渡邊	
第2～4回	リサーチミーティング・研究テーマの検討(1)(2)(3)		大森、渡邊	
第5、6回	リサーチミーティング・研究テーマに関する文献検討(1)(2)		渡邊、大森	
第7、8回	各自指導教員と研究テーマの検討(1)(2)		渡邊、大森	
第9、10回	リサーチミーティング・研究テーマの決定(1)(2)		大森、渡邊	
第11、12回	リサーチミーティング・研究計画書の検討(1)(2)		大森、渡邊	
第13、14回	倫理審査委員会に提出する書類の作成(1)(2)		渡邊、大森	
第15回	倫理審査委員会でのプレゼンテーション		大森、渡邊	
第16回	中間発表会でのプレゼンテーション		渡邊、大森	
第17回	研究計画書の再検討(1)(2)		大森、渡邊	
第18～20回	リサーチミーティング・研究計画書の決定(1)(2)(3)		大森、渡邊	
第21～33回	各自指導教員の指導のもとにデータ収集(1～13)		渡邊、大森	
第34～38回	各自指導教員の指導のもとにデータ分析(1～5)		渡邊、大森	
第39～41回	リサーチミーティング・中間発表(1)(2)(3)		大森、渡邊	
第42～50回	各自指導教員の指導のもとにデータ分析(1～9)		渡邊、大森	
第51～60回	修士論文の作成(1～10)		大森、渡邊	
第61～64回	リサーチミーティング・最終発表(1～4)		大森、渡邊	
第65～67回	修士論文の修正(1)(2)(3)		渡邊、大森	
第68、69回	発表資料等の作成と発表準備(1)(2)		渡邊、大森	
第70～72回	修士論文の発表(1)(2)(3)		大森、渡邊	
第73、74回	修士論文の修正(1)(2)		渡邊、大森	
第75回	修士論文の完成・提出		大森、渡邊	
教科書・参考書等 別途指示する。				
オフィスアワー 月曜日17時から18時30分				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 大学院生の主体的な判断が重要であるが、適宜面談を行い、思考を整理しながら進める。				

授業科目名 (時間割コード: 963004) 地域看護学特別研究 Community Health Nursing Research Practice	科目区分	DPコード 1bcaGM	分野コード
担当教員名 大西 美智恵, 越田 美穂子	単位数 10	時間割 前期 未定	
	対象年次及び学科 1~1 医学系研究科		
	関連授業科目 看護研究方法論1, 看護研究方法論2, 地域看護学演習		
	履修推奨科目 看護研究方法論1, 看護研究方法論2, 地域看護学特論, 地域看護学演習		
学習時間 講義90分×75回+自学自習			
授業の概要 研究計画書に基づいて研究を進め、修士論文を完成・提出するまで指導する。			
授業の目的 研究計画書に基づき、指導教員の指導のもとに研究を進め、修士論文を完成・提出する(しDPの「研究能力・応用力」に対応)。			
到達目標		学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
1. 研究の進捗状況を適切に発表できる。 2. 研究計画書に沿って研究を行い、修士論文としてまとめることができる。 3. 修士論文を期限内に提出できる。			
成績評価の方法と基準 修士論文の作成過程・修士論文内容・進捗状況の発表内容・修士論文発表・修士論文の提出			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1~2回: ガイダンス, 研究計画書の確認	大西		
第3~4回: 研究方法の検討	大西・越田		
第5~6回: 倫理的配慮の検討	大西・越田		
第7~16回: データの収集準備とデータの収集	大西・越田		
第17~18回: 研究の進捗状況の確認<ゼミでの発表>	大西・越田		
第19~30回: データの収集	大西・越田		
第33~40回: データ分析	大西・越田		
第41~42回: 研究の進捗状況の確認<ゼミでの発表>	大西・越田		
第57~58回: 研究の進捗状況の確認<ゼミでの発表>	大西・越田		
第59~66回: 論文作成	大西・越田		
第67~68回: 研究の進捗状況の確認<ゼミでの発表>	大西・越田		
第69~75回: 修論提出準備・公開発表準備	大西・越田		
【自学自習のアドバイス】 第1回~第16回 研究計画書に沿ってデータ収集を行い、ゼミでの発表準備をする。 第19回~第30回 データ収集を行い、ゼミでの発表準備をする。 第33回~第40回 データ分析を行い、ゼミでの発表準備をする。 第43回~第56回 論文作成し、ゼミでの発表準備をする。 第59回~第66回 論文を修正し、ゼミでの発表準備をする。 第69回~第75回 論文を修正し提出できるよう準備するとともに、公開発表に備え準備する。			
教科書・参考書等 研究の進捗状況を考慮し、適宜紹介する。			
オフィスアワー 個別に約束した時間			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 教員や修了生、M1生の意見を取り入れながら、主体的に論文を作成していくこと			

授業科目名 在宅看護学特別研究 Master's thesis	(時間割コード：963104)	科目区分	DPコード 「1 b c GM」	分野コード
担当教員名 松井 妙子		単位数 10	時間割 前期 未定	
		対象年次及び学科	医学系研究科	
		関連授業科目	在宅看護学特論 在宅看護学演習 看護研究方法論	
		履修推奨科目	看護倫理学、	
学習時間	授業90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 学生の関心領域に関する研究計画に沿って研究を実施し、修士論文を作成するまでを指導する				
授業の目的 研究計画を基に研究を実施し、研究を行う能力を身につける。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究計画に沿って自ら研究を推進できる。 2. 計画がうまく進まない場合には、研究計画を適切に修正し研究を推進できる。 3. 修士論文をまとめ、プレゼンテーションを行うことが出来る。				
成績評価の方法と基準 研究計画の作成、倫理委員会への申請、修士論文作成過程、その内容、発表内容、提出された修士論文より評価する。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義、個別指導および在宅看護学分野内での研究ゼミで発表する。				
第1～2回 ガイダンス、研究計画書の再検討 第3～50回 研究の実施、データ収集、研究の進捗状況に応じた指導 第51～60回 データ分析 第61～70回 修士論文作成 第71～75回 修士論文の審査・発表・提出				
教科書・参考書等 看護研究 原理と方法、医学書院 研究テーマに沿った文献を適宜参照				
オフィスアワー 火・木の20時前後				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 学生が自身の関心領域に沿って、自ら研究し、修士論文を作成するまでを指導します。学生は自身の修士論文作成なので主体的に取り組むこと。				

11. 修士論文の作成と提出

1) 平成28年度修士論文作成日程

3月修了予定者

(1) 学位論文題目届受付

平成28年11月14日（月）～11月18日（金）17時までの間に、学位論文題目届（様式501）を学務室大学院担当に提出する。

(2) 一次審査用学位論文受付

平成28年12月12日（月）～12月22日（木）12時までの間に、以下を添えて学務室大学院担当に提出する。

- | | |
|---|----|
| ・学位論文審査願（様式502） | 1部 |
| ・学位論文（審査用最終論文表紙をつける）（様式506）
（動かないようにホッチキス止めなど） | 3部 |
| ・学位論文の内容の要旨（様式503） | 4部 |
| ・論文目録（様式504） | 4部 |
| ・履歴書（様式505） | 4部 |

(3) 一次審査論文審査期間

平成29年1月6日（金）～1月13日（金）の間に実施する。

(4) 修士論文発表会

平成29年1月26日（木）発表会用資料はA3用紙3枚以内とする。

発表はPower Point（パワーポイント）を使用可とする。

平成29年1月31日（木） 予備日

(5) 修正した修士論文に様式506を付けて平成29年2月9日（木）までに主査に3部提出する。

＊この時、最終論文表紙（様式507）を別途1枚提出する。

(6) 最終論文審査期間

平成29年2月10日（金）～2月17日（金）の間に実施する。

(7) 最終論文審査終了後、主査からの審査報告により作成された最終論文を提出する。

平成29年2月28日（火）12時までに総務課学務室大学院担当に2部提出する。

＊この時、最終論文表紙（様式507）をコピーしたものをつける。

＊2部の配布先は、主査・学務室に各1部

＊論文題目に変更がある場合は、題目変更届けを併せて提出する。

(8) 学位授与決定（3月初旬の研究科委員会）

(9) 学位授与 平成29年3月24日（金）学位記授与式（幸町キャンパス）

(10) 製本された報告用学位論文（最終論文表紙原本をつけたもの）を平成29年3月24日（金）までに、1部、学務室に提出する。

＊この時、2月28日までに提出された最終論文と引き換えにする。

9月修了の修士論文作成日程

(1) 学位論文題目届受付

平成28年6月6日（月）～6月10日（金）17時までの間に、学位論文題目届（様式501）を学務室大学院担当に提出する。

(2) 一次審査論文受付

平成28年7月4日（月）～7月8日（金）17時までの間に、以下を添えて学務室大学院担当に提出する。

- | | |
|---|----|
| ・学位論文審査願（様式502） | 1部 |
| ・学位論文（審査用最終論文表紙をつける）（様式506）
（動かないようにホッチキス止めなど） | 3部 |
| ・学位論文の内容の要旨（様式503） | 4部 |
| ・論文目録（様式504） | 4部 |
| ・履歴書（様式505） | 4部 |

(3) 一次論文審査

平成28年7月11日（月）～7月19日（火）の間に実施する。

(4) 修士論文発表会

平成28年8月2日（火）発表会用資料はA3用紙3枚以内とする。

発表はPower Point（パワーポイント）を使用可とする。

平成28年8月5日（金） 予備日

(5) 修正した修士論文に様式506を平成28年8月19日（金）までに主査に3部提出する。

＊この時、最終論文表紙（様式507）を別途1枚提出する。

(6) 学位論文最終審査期間

平成28年8月22日（月）～8月26日（金）の間に実施する。

(7) 最終審査終了後、主査からの審査報告により作成された最終論文を提出する。

平成28年9月6日（火）12時までに総務課学務室大学院担当に2部提出する。

＊この時、最終論文表紙（様式507）をコピーしたものをつける。

＊2部の配布先は、主査・学務室に各1部

＊論文題目に変更がある場合は、題目変更届けを併せて提出する。

(8) 学位授与決定（9月中旬の研究科教授会）

(9) 学位授与

平成28年9月下旬 学位記授与式（医学部キャンパス）

(10) 製本された報告用学位論文（最終論文表紙原本をつけたもの）を(9)学位授与式前日

までに1部、学務室に提出する。

＊この時、9月6日までに提出された最終論文と引き換えにする。

2) 修士論文作成の手引き

- (1) 原稿（和文の場合）は、P Cを用いて作成する。
- (2) 原稿は、新仮名づかいを用い、原則として常用漢字とする。句読点は、「、」を用いる。
- (3) 単位は、原則としてSI単位とする。特殊な単位を用いるときは、簡単な説明を加える。
- (4) 外国の固有名詞（人名、地名など）は、原語のまま、またはカタカナ表記とする。
- (5) 略語は、論文にしばしば繰り返される語について差し支えないが、初出の時には、完全な用語を用い、その後略語を用いることを明記する。
- (6) 論文には、内容の要旨が理解できるように、800字以内の要旨をつけ、3～5個のキーワードをつける。
- (7) 論文の構成は、原則として次のようにする。項目分けは、I、1、1）、(1)、①の区分とする。

【論文構成】

表紙 …… 様式506、507用紙使用

要旨

目次

I. 序論（ページ1、2、3・・・を入れる）

II. 文献レビュー

III. 目的

IV. 方法

V. 結果

VI. 考察

VII. 研究の限界

VIII. 結論

提言

謝辞

引用文献

図、表 （ページ i、ii、iii・・・を入れる）

資 料 （調査用紙、その他）（ページ i、ii、iii・・・を入れる）

- (8) 図・表は、図の下に図1、表の上に表1などの番号をつける。
- (9) 文献は、本文の引用箇所の型に「1, 2, 3」など番号で示し、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する、文献の著者が3名までは全員、4名以上の場合は、最初の3名を記し、それ以上は他またはet al.とする。雑誌などの略語については、和文誌は医学中央雑誌に、英文誌はINDEX MEDICUSおよびINTERNATIONAL NURSING INDEXに従って記載する。

電子文献は原則として使用しない。なお、電子文献を使用する場合は指導教員の指導のもとで、電子文献の引用方法は、世界知的著作権機関 W I P O 標準 S T. 1 4 に準拠して、記載例に基づき使用すること。

【文献の記載例】

- ① 雑誌の場合 著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦）。
- ② 単行本の場合 著者名：表題名，書名，（監・編者名），版，発行所，発行年（西暦）。
- ③ 訳本の場合 原著者名（版）：発行年（西暦），監・訳者名，書名，発行所，発行年（西暦）。
- ④ 電子文献の場合： 著者の氏名，表題，関連箇所（頁，欄，行，項番，図面番号，データベース内のインデックス又は最初と最後の語句），媒体のタイプ [online]，掲載年月日，掲載者，掲載場所及び関連する箇所，検索日，情報の情報源及びアドレス

(10) 論文の書式は、以下のとおりとする。

- ① A 4 版紙縦書きとし、左35mm、右20mm、上30mm、下30mmの余白をとり、横書きで作成する。
- ② 本文の字体は、和文については明朝体 1 1 ポイント、英文についてはTime体10ポイントを標準とし、35字×36行で打ち出す。
- ③ 論文は、表紙、要旨、目次、本文、付録（図表、資料）の順に添付し、製本する。
論文は、原則として以下の事項から構成されるように作成する。
なお、図表および資料については、本文の最後にそれらごと一括して編集して、提出する。

製本の表紙と背表紙は、（別記 1）を参照されたい。

題名 和文タイトル 英文タイトル	要旨	—目次— 〇〇〇頁	I. 序論
1 枚目	2 枚目	3 枚目	4 枚目

- ④ 本文（序論から引用した文献まで）の頁（ページ）の記載については、序論から文献の最後頁まで、— 1 — — 2 — — n — のようにつける。
- ⑤ 資料（図表・同意書・依頼書・調査用紙）には、文献欄と区別し、— i — — i i — — n — の頁番号をつける。それらの記入場所は、下中央とする。

提出書類・その他

3) 提出書類様式 用紙は以下の様式に則って各自作成する。

(様式 501)

学 位 論 文 題 目 届	
平成 年 月 日	
医学部研究科長 殿	学位論文提出
看護学 専攻 _____ 分野 学 籍 番 号 _____ ふりがな _____ 氏 名 _____	
下記のとおり学位論文題目をお届けします。 記 学位論文題目	

(様式 502)

香川大学長 殿	
看護学専攻 _____ 専 攻	学 籍 番 号 _____
氏 名 _____	
学 位 論 文 審 査 願	
香川大学学位規則第7条第1項の規定に基づき、下記の書類を提出いたしますので 御審査願います。	
記	
1 学 位 論 文	3 冊
2 学位論文の内容の要旨	4 冊
3 論 文 目 録	4 冊
4 提 要 書	4 冊
備考 1 学位論文は、表紙を付けたものを3部提出すること。 2 参考論文がある場合は、各3部添付すること。 3 論文目録及び要旨書は、それぞれ原本1部及び写し3部を提出すること。	

(様式 503)

学位論文の内容の要旨			
専 攻	学 籍 番 号	分 野	
学 籍 番 号		氏 名	
論文題目			
論文要旨			

備考 論文要旨は、日本語で800字以内でまとめなければならない。

(様式 504)

香川大学長 殿	
専 攻 _____	学 籍 番 号 _____
論 文 目 録	
専 攻 _____	分 野 _____
学 籍 番 号 _____	氏 名 _____
学位論文 1 題 目 「○○○○○・・・・・・・・」	
2 参考文献 参考文献1 題目「○○○○○・・・・・・・・」 参考文献2 題目「○○○○○・・・・・・・・」	
平成 年 月 日	
学位申請者 氏名 _____ 氏	

(注) 1 論文題目が外国語の場合は、日本語訳を括弧書きで付記してください。
 2 4冊 (原本1冊、写し3冊を添付) 提出してください。
 3 学位申請者氏名は必ず自署してください。

(様式 505)

履歴番号		学力試験 番 号	
履 歴 書			
ふりがな 氏 名	や し ま は な こ 風 鳥 花 子		男・女
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日生		
現 住 所	香川県木田郡三木町池戸1750-1		本 籍 地
学 歴		期 界	
昭和〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇高等学校卒業	
昭和〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇大学〇〇学部卒業	
昭和〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程入学	
職歴及び研究歴			
昭和〇〇年〇〇月〇〇日		香川大学医学部附属病院看護学専攻修士課程に採用	
上記のとおり間違ありません。			
平成〇〇年〇〇月〇〇日		署名 _____ 印	

1 年月日は、申請日（論文提出日）としてください。
 2 学歴は高等学校卒業以降、年次を適宜記載してください。
 3 職歴及び研究歴は、一つにまとめて記載してください。
 4 学位論文提出時には第4頁「添しつけ表を含む」提出してください。
 5 学位申請書添付は必ず記載してください。

(様式 506) 審査用最終論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

題 目 (20P)

(和 文)
 (英 文)

学籍番号 _____

氏 名 _____ 15P

指導教員承認印

--

審査用論文の表紙として使用する
 上余白 30mm 下余白 30mm
 左余白 35mm 右余白 26mm

(様式 507) 最終論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

題 目 (20P)

(和 文)
 (英 文)

学籍番号 _____

氏 名 _____ 15P

審 査	査 査	副 査	副 査
承認印			

審査用論文の表紙にはコピーを使用し、
 本紙は製本提出用に使用する。

上余白 30mm 下余白 30mm
 左余白 35mm 右余白 26mm

様式は医学部ホームページ（医学研究科）よりダウンロードする。

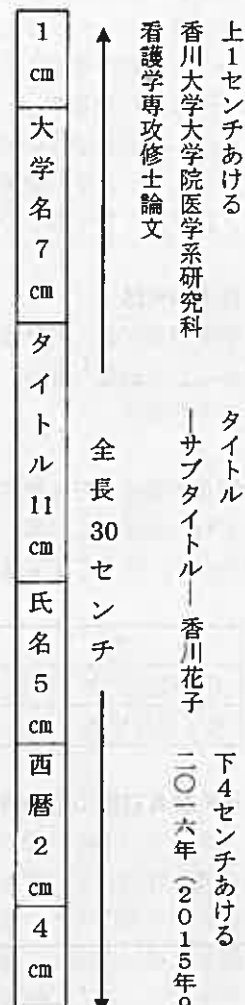
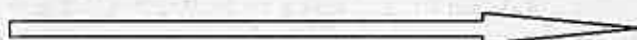
(別記 1) 学位論文の製本表紙の作成要領

1. 製本用の修士論文の表紙は黒色系のカバーを用い、表紙と背表紙に課題名、年及び氏名を金文字で印刷すること。

背表紙	香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文
(3.を参照)	和文タイトル 英文タイトル
	平成 年 月
	氏 名

2. 大学保存 1冊
主担当指導教員 1冊
本人 必要冊
(その他、コピー版として、簡易製本で多数作成するのは、論文のオリジナル性を考慮すると、好ましくない。)

3. 背表紙 (作成例)



4. どこで製本しても良いが、体裁は、出来るだけ統一することが望ましい。
5. 経費は自費とする。
6. 提出日・提出場所 平成29年3月24日(木)(9月修了者については学位授与式前日)までに、医学部学務室
大学院担当に提出する。
この時に、簡易製本の冊子を、差し替える。
その後、図書館医学部分館に保存する。

12. 学生生活支援について

1 入学料の免除

入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、また本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合などの特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められた者については、願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがある。

なお、前述及び経済的理由により納付期限（入学手続期間）までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者については、願い出により選考の上、入学料を指定された期日まで徴収を猶予することがある。

2 授業料免除

学業優秀と認められる者で、上記と同様な理由により、授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

3 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸与月額
第一種奨学金（無利子）	50,000 円又は 88,000 円
第二種奨学金（有利子）	5 万円、8 万円、10 万円、13 万円、15 万円の 5 種類から選択

4 学生教育研究災害障害保険制度

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。

本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

5 学研災付帯学生生活総合保険

上記4の保険と同時に加入手続きを行ってもらい、在学中に偶発的な事故及び臨床実習中における他人への賠償責任事故・針刺し事故等感染事故を補償する制度。医学系研究科ではこの保険に加入することを勧めている。

6 健康管理

学生、教職員の保健管理業務を専門的に集中的に取り組むことを目的として、専任の医師、保健師による保健管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談。採用試験等必要な場合、願い出による健康診断書の発行を行っ

ている。その他、救急薬品を常備し、簡単な応急処置も行っている。

7 学生生活相談

総務課学務室（管理棟1階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さいことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

8 特別待遇学生（特待生）制度

学業成績、人物共に特に優れた者に授業料免除を与える制度があります。

9 学会発表助成

国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助があります。

10 長期履修制度

職業を有している等の事情による者は、申し出により審査を行い認可された場合、3年を修業年限とする長期履修制度があります。

11 教育訓練給付制度指定

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）または一般被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%（支給要件期間が3年以上の者。ただし、初回に限り、1年以上の者。）に相当する額（上限10万円）をハローワーク（公共職業安定所）から支給します。

12 注意！

1) 連絡事項は看護学科教育研究棟1階の大学院生用掲示板で行います。

